



宗像市立	小学校
宗像市立	中学校
義務教育学校宗像市立	学園
名前	

みんなと学ぼう、ふるさと宗像BOOK



みんな^{まな}で学ぼう!

ふるさと^{むな}と宗像^{かた} ブック Book



せ かい ぶん か い さん かみ やど しま
世界文化遺産『神宿る島』
 むな かた おき の しま かん れん い さん ぐん
宗像・沖ノ島と関連遺産群や
 むな かた
ふるさと宗像について、学ぼう!
 まな

宗像の小学生、中学生のみなさんへ

2017年(平成29年)7月に、宗像にある「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産に登録されました。

みなさんは、このニュースを聞いて、どのようなことを思いましたか。この世界遺産登録のために、たくさんの人たちが熱い思いや願いを長年持ち続け、絶え間ない努力をしてこられました。そのおかげで、みなさんが住んでいるまち・宗像に世界遺産が誕生しました。

今回世界遺産に登録されたことがゴールなのではなく、昔から今へと引き継がれてきたかけがえのない宝物を未来へと大切に伝えていくスタートです。宗像の宝が世界の宝になり、世界中から注目をされています。これからこの世界の宝「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を守り、その価値や良さを世界へ発信していくのは、みなさんです。

そのためには、みなさんが宗像にある歴史や文化などの価値や良さを知らなければなりません。そこで、宗像市教育委員会は、たくさんの方の力をかりて、この「ふるさと宗像ブック」を作りました。この本を使って、自分で調べ、考え、友達と力を合わせて、たくさん学んでほしいと思います。



むなかたびと
宗像人



むなかた仙人
せんじん

目次

はじめに 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群とは? 03

【前期①】(1・2年生) ふるさと・むなかたを知ろう!

第1学年 おきのしまは かみのしま 10
第2学年 おきのしまの むかしばなし 12

【前期②】(3・4年生) ふるさと・むなかたを調べよう!

第3学年 思いを伝えよう! 私たちの「みあれ祭」 17
第4学年 調べよう! 宗像市にある沖ノ島 25

【中期】(5・6・7年生) 世界遺産を調べ、発信しよう!

第5学年 考えよう! 世界遺産のすばらしさ 34
第6学年 『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の価値 38
第7学年 宗像にある世界遺産の価値を伝えよう 59

【後期】(8・9年生) 自分たちにできることを考え、発信しよう!

第8学年 日本の世界遺産(京都・奈良)から見えてくるもの
「修学旅行で宗像を発信しよう!」 68
第9学年 宗像の課題と可能性について考え、地域に提言・発信しよう 73



か じく おきのしま ず
掛け軸「沖ノ島図」



福岡市博物館所蔵

江戸時代の半ば(約300年前)ごろ、福岡藩を治めていた4代目藩主・黒田綱政が描いたものです。

沖ノ島はもちろん、その手前にある岩で、左から小屋島、御門柱、天狗岩も描かれています。この3つの岩は沖津宮の天然の鳥居の役割を果たしています。

機会があったら、ぜひ目の前で
見てみよう!



かみ やど しま むな かた おきのしま
「神宿る島」宗像・沖ノ島と
かん れん い さん ぐん
関連遺産群とは?

古代日本の信仰の
すがたを残す
貴重な遺産です。

1

沖ノ島では、4世紀後半から9世紀末にかけて、
国の安寧や外国との交流の成功を願って、当
時の国をあげて盛大な祭祀(神様へお祈りす
るまつり)が行われました。



神様に捧げられた
約8万点の出土品は
すべて国宝なんだよ!



その中には、
シルクロードを伝わって
きたものもあるんだって



沖ノ島

2

日本最古の歴史書といわれる、古事記・日本書紀の神話にも登
場する宗像三女神。三女神は沖津宮、中津宮、辺津宮でそれぞれ
まつられ、この三宮をあわせて宗像大社といいます。

宗像三女神



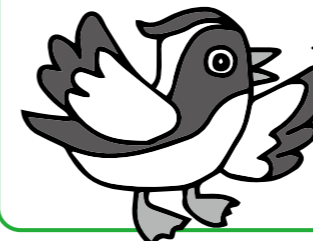
宗像三女神は
北部九州の地を
守ったんだって



日本書紀

3

かつてこの一帯を支配し、宗像三女神をま
つっていた宗像氏の墓が、海を見渡す台地に
につくられています。それが、新原・奴山古墳
群です。



これらをあわせて、
「神宿る島」宗像・沖ノ島と
関連遺産群というんだよ



新原・奴山古墳群

なぜ世界遺産なの？

沖ノ島は、4世紀後半から9世紀末にかけて、国の安寧や外国との交流の成功を祈る祭祀が行われた島です。古代祭祀の移り変わりを知ることができる唯一の貴重な遺産です。また、現在まで信仰を受け継いでいる宗像大社と、祭祀を支えた宗像氏のお墓である新原・奴山古墳群も、沖ノ島の祭祀と関係がある遺産として重要です。

どうして沖ノ島にたくさんの宝物が残ったの？

沖ノ島は、「海の正倉院」とも呼ばれており、約8万点の出土品はすべて国宝に指定されています。島内の物を持ち帰ってはならない、島で見たり聞いたりしたことは一切口にすることはできないなど、昔から多くのしきたりによって守り続けられてきたため、たくさんの宝物がそのまま残っていたと考えられています。

沖ノ島をはじめ、宗像大社や新原・奴山古墳群は世界に誇る貴重な遺産なんだね



※沖ノ島には許可なく入ることができません。

沖ノ島は、 どんなところ？

沖ノ島は約1600年前から、神に祈りを捧げる島でした。

1 沖ノ島は日本と朝鮮半島の間位置する島です。沖ノ島では大きな岩が集中している場所で、祭祀を行っていた跡が22カ所も見つかっています。



沖ノ島祭祀遺跡

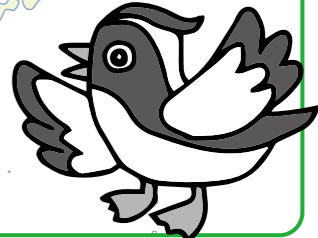
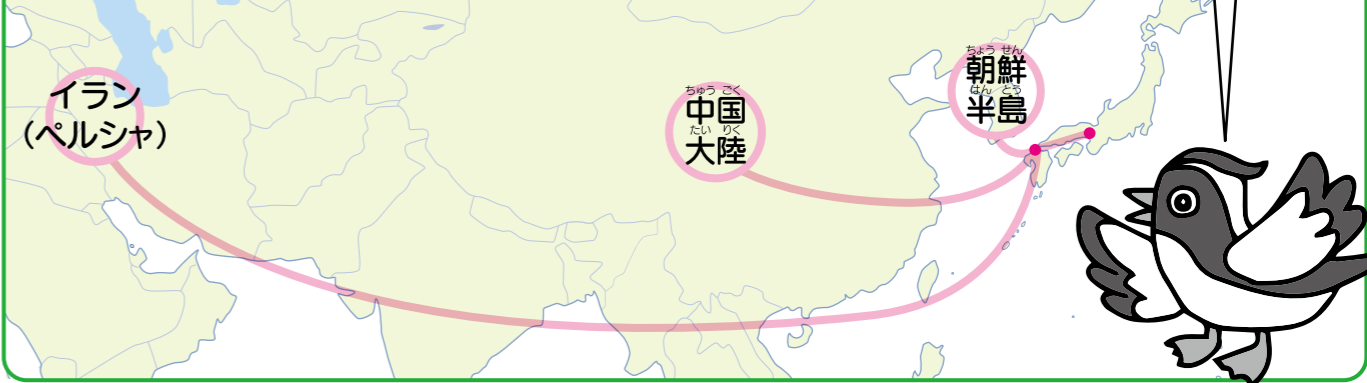
2 祭祀に使われた鏡や土器など、沖ノ島から出土した国宝の数は約8万点！

すごいな～



3 出土品には、中国大陸や朝鮮半島を通じてもたらされたとても貴重なものもあります。中には、シルクロードを経て、イラン(ペルシャ)から運ばれてきたものも含まれています。外国との交流がうまくいくように祭祀が行われました。

当時の外国との交流がよくわかるね



沖ノ島の出土品



【三角縁神獣鏡】

縁の断面が三角の形をした鏡です。背面に神様や神獣がデザインされています。古墳時代の有力者のお墓から出土しています。



【金製指輪】

5世紀につくられた内径1.8cmの純金製の指輪。



【金銅製歩揺付雲珠】

馬を飾るための装飾品。



【奈良三彩有蓋小壺】

唐(中国)の三彩の技術をもとに作った日本最初の釉薬をかけた焼き物です。



【金銅製龍頭】

天蓋や旗をつり下げる竿の先につける飾りで、ペアで二つ出土しています。



奈良の正倉院みたいに古代の宝物がたくさん。だから海の正倉院とも言われているんだよ

宝物の発見場所

沖ノ島では約500年にわたり祭祀が行われ、4つの時代で宝物が見つかった場が変遷しています。

岩上



(4世紀後半～5世紀)

半岩陰・半露天



(7世紀後半～8世紀前半)

岩陰



(5世紀後半～7世紀)

露天



(8世紀～9世紀末)

大きな岩陰

大きな岩から離れた平らな場所

大きな岩の上

岩陰から少し離れた場所

宗像三女神をまつる宗像大社

1

神話の中でアマテラスとスサノオが誓約(正しいかどうかを判断する占い)をしたときに生まれたのが宗像三女神です。アマテラスの命により、宗像から朝鮮半島へ至る重要な場を守るために降臨したとされています。

たごりひめのかみ 田心姫神

たぎつひめのかみ 湍津姫神

いちきしまひめのかみ 市杵島姫神

宗像三女神

2

田心姫神は沖津宮、湍津姫神は中津宮、市杵島姫神は辺津宮にそれぞれ祀られています。



沖津宮(沖ノ島)



中津宮(大島)



辺津宮(九州本土土島)

3

宗像大社のまつりや行事は地域の人と深く関わり、多くの人の信仰をあげ、現在も続いています。



みあれ祭(10月1日)



高宮神奈備祭(10月3日)



沖津宮遙拝所

※ここから沖ノ島をおまいりします

沖ノ島への祈りの伝統が現在まで受け継がれてきたことが分かるね



沖ノ島で祭祀をおこなった 宗像氏の古墳

はじめに

前期①(1・2年)

前期②(3・4年)

中期(5・6・7年)

後期(8・9年)

はじめに

前期①(1・2年)

前期②(3・4年)

中期(5・6・7年)

後期(8・9年)

【前期】1~4年生

ふるさと・むなかたを知ろう!
調べよう!



1 新原・奴山古墳群は、5世紀前半から6世紀後半にかけてつくられた計41基の古墳群です。沖ノ島で祭祀を行い、この地を支配した有力者の宗像氏は、航海が得意で海を見渡す台地にお墓をつくりました。

古墳からは大島や沖ノ島へつづく海が見えるよ



2 新原・奴山古墳群は、前方後円墳5基、円墳35基、方墳1基の、さまざまな大きさ、形の古墳が集まっています。

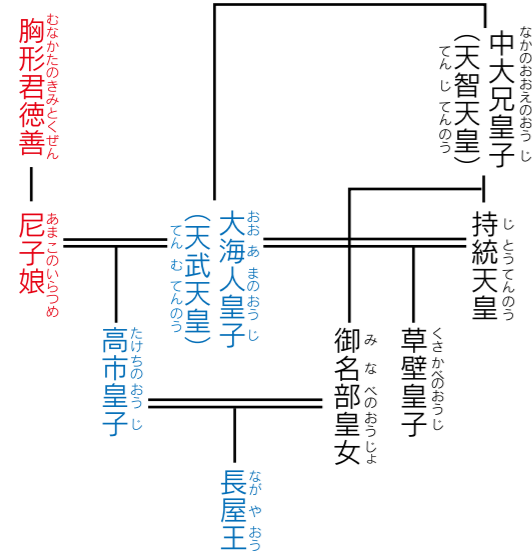


前方後円墳(30号墳)

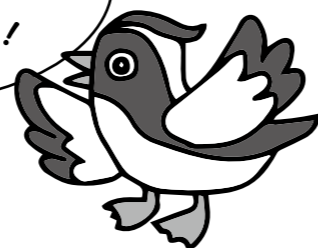


方墳(7号墳)

3 天武天皇の第一皇子を生んだ尼子娘の父が胸形君徳善であり、宗像氏はヤマト王権と密接な関係を持っていました。



宗像氏の一族には、
天皇のお嫁さんになった
人も出ているんだ!



1年 おきのしまは かみのしま

ふるさと・むなかたをしろう!

めあて 「おきのしま」のおはなしをよんでみよう。

◆せかいいさんのしゃしん1



おきのしまって
なにかな?



【おきのしま】…むなかたしのうみのむこうにうかぶしまです。



【おきつみや】

…おきのしまにありたごりひめのかみをおまつりしています。



【オオミズナギドリ(オガチ)】→4年生(P28)へ

…おきのしまのじめんにあなをほってすみかとしているうみどりです。



◆せかいいさんのしゃしん2

みあれさい という
おまつりを
しているかな?



【みあれさいのようす】→3年生(P18)へ

…むなかたさんじょしんがねんにいちどへつみやにそろっておまつりです。



【なかつみや】…おおしまにありたぎつひめのかみをおまつりしています。



【へつみや】…たしまにありいちきしまひめのかみをおまつりしています。

さいし 祭祀とは?

かみ せん そ ぞな もの
神や先祖にお供え物など
をして儀式を行い、心を和や
かにしたり、お祈りしたりす
ることをいいます。

みなさんの記憶がないう
ちから、みなさんのせいちよう
に合わせて様々なお祝いやお
願いを家族からしてもらっ
てきました。七五三は、覚えて
いますか。

みなさんのしあわせやけんこう、
あんぜんなどを祈ることと同じ
ことですね。

おきのしまの むかしばなし

めあて お話を読んで、感想を話そう。

沖ノ島の竹筒

沖ノ島は、玄界灘に浮かぶ孤島です。

島は、宗像大社の三宮の一つである沖津宮であることから、古来「神の島」とあがめられ、人が住むことを許されない聖地でした。しかし、沖津宮の管理と警備のために、神宮をはじめ、足軽四人、水夫四人、雑役係二人が、百日交代で任務に当たっていました。

江戸時代の初めのころのことです。

吉田安左衛門という若者が、警備隊の一員に任命されました。安左衛門は、ただ一人の家族である年老いた父を一人残して行くことに後ろ髪を引かれる思いでしたが、藩の命令ではしかたありません。老父のことは近所の人たちに頼んで出かけて行きました。

島での暮らしは、退屈なものでした。島の住人がいるわけでもなく、仕事といっても、神社に奉仕し、島を巡回するだけの単純なものでした。

ところが、安左衛門は、ゴツゴツした岩だらけと思っていた島が、意外にも原生林におおわれていることに気づきました。太古の昔から無人の島であったことから、樹木は自然の姿そのままに、鬱蒼と茂っています。



- ①あがめられ…とことび、こやまご。
- ②任務…責任をもつてする仕事。
- ③江戸時代の初め…約四百年ほど前
- ④任命…役目につくよま命じること。
- ⑤藩…江戸時代に大名がおおめしていた領地。
- ⑥太古…大むかし
- ⑦鬱蒼…木がこんもりとじげるよこさ。

ある日のこと、安左衛門は巡回の途中、見事な竹林を発見しました。すくすくと伸びた青竹―ふと、安左衛門は、父を思い出しました。酒が好きな父が、独り寂しく徳利をかたむけている姿が浮かんだのです。

(…そうだ。父のために、この大きな竹の筒で徳利を作ろう。)

だが、待てよと、安左衛門は思い直しました。

(この島では、草木一本、石ころ一つたりとも取ってはならぬことになっている。もし掟を破れば、天罰が下るということだ。)

しばらく思案した安左衛門は、沖津宮の社前にぬがづきました。

「神様、お願いがございます。百ヶ日間、まじめにお勤めをいたしますので、せめて父への孝行のしるしとして、竹の筒を二節、お分けくださいませ。神様のお許しをいただいた竹の筒で、酒を飲むことができましたなら、父もさぞかし長生きすることございましょう。」

こうして、安左衛門は、夜が更けるのを待つて竹林に分け入ると、手ごろな竹を切りました。そして、二本の竹筒を作り、表面に模様を刻み、磨きに磨きをかけて竹の徳利を完成させました。

それからというもの、安左衛門は毎夜、床につくと、そつと竹筒を手で撫で、父の面影を偲んだのです。

やがて、交代の日がきました。

長かった島勤めを終えて、一行は浮き足たっていました。



- ⑧徳利…酒を入れるつわ。
- ⑨掟…守らなければならぬ決まりややくそく。
- ⑩ぬがづく…ひたいを地面につけるもつじして、こいねらにおがむ。
- ⑪浮き足たつ…そわそわして、落ち着きがなくなる。

島からは何一つ持ち出すことは禁止され、検査も厳重でしたが、安左衛門は竹筒をどうにか隠しおえ、舟に乗り込みました。船頭のねぎらいの言葉も上の空です。心は、早くも父のもとに飛んでいました。

舟が海のただ中にさしかかったときです。急に海面が波打ち、荒れはじめました。船頭は必死で櫓をあやりましたが、舟はまるで木の葉のように頼りなげで、あやうく転覆しそうになりました。

「これはただごとではない。神のお怒りじゃ。この中に、島の物を隠し持ってきた者はおるまいな。」

神官が叫びました。その言葉に、一同、顔を見合わせました。
(…どうしよう)

安左衛門は困り果て、自問自答を繰り返しました。そして、どうとう、竹筒を隠し持って来たことを正直に打ち明けたのでした。

神官は怒り、安左衛門から竹筒を取り上げると、神様に詫び、海の中に投げ捨てました。

すると、不思議なことに、あれほど荒れていた波がピタリと静まり、舟は滑るように進みはじめたのでした。

同僚たちは、安左衛門をなじり続けました。いくらなじられても、返す言葉がありません。

(…たしかに自分が悪いのだから、仕方ない。しかし、竹筒がなくなっただけは、寂しい。親孝行をしようと思ってやったことなのに…)



- ⑫ねぎらい…ほねおりをしたわりなくせめる。
- ⑬櫓…和船の後ろにつけて、水をかいて舟を進めるもの。
- ⑭なじる…あいつの悪いところをひがめる。

安左衛門がうなだれていると、「おや。あれは何じやい。」

船頭の叫ぶ声がしました。指さす方向を見ると、舟が尾を引く白波に、二本の竹筒がプカリ、プカリと、浮きつ沈みつしながらついて来るではありませんか。

信じられない光景に、神官や同僚たちは、あ然とするばかりでした。

やがて、舟は、無事に港に着きました。

安左衛門は、藩への報告を済ませると、二本の竹筒を手に、飛ぶようにして家に帰りました。そして、息子の帰りを待ちわびていた父と手に手を取りあい、涙して再会を喜び合いました。

その夜、安左衛門と父は、近所の人たちと祝杯をあげました。

竹筒の徳利には、祝いの酒が満たされました。

その酒の何と美味であつたことが、まるで神様からの賜り物のようだ、客人たちも驚きました。

不思議なことに、その竹筒は、水をそそいだけで美酒に変わっていくのでした。

【出 展】福岡県の書ばなし 平成十二年六月二日 初版発行
編集者 西日本新聞社 発行者 西日本新聞社

【引用文献】注釈①⑫ 例解学習国語辞典 第九版ソフト版(2010) 小学館



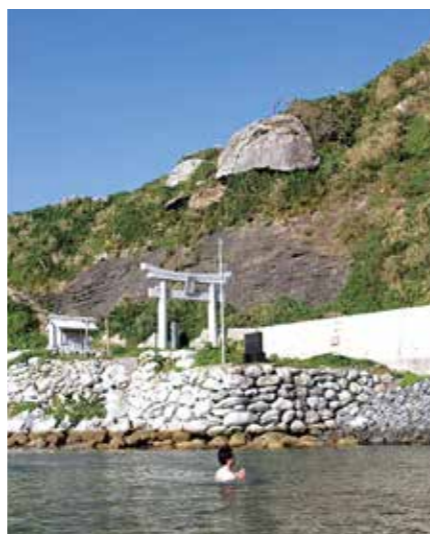
⑮賜り…「もらい」のしなねしなを言ひた。したたく、ちもにたしめる

宗像の民話に関する写真

おきのしま たけつつ
【沖ノ島の竹筒】



神職が約400段の急な石段を上り、沖津宮にお参りします



神職はここで毎朝裸で海に入り「禊(身を清めること)」を行います

みんなの学校の近くの民話もしらべてみよう!



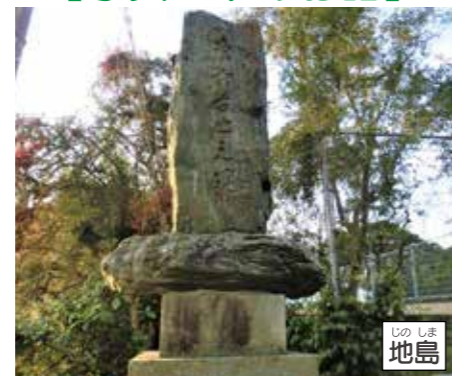
まだまだあるよ! 宗像の民話

なか つ みや たなばたでんせつ
【中津宮の七夕伝説】



七夕祭(8月7日 旧暦7月7日)

こうじょ はなし
【孝女こやのお話】



地島に建つこやの記念碑

ちようた ろう
【長太郎カッパ】



宗像市の中央を流れる釣川

ななまた おろち
【七股つつみの大蛇】



今の七股つつみのようす

たけまる しょうすけ
【武丸の正助さん】



親孝行で働き者の正助さんの像

たるみ たるみ とうげ こわ はなし
【樽見(垂水)峠の怖い話】



今の樽見峠のようす

3年 思いを伝えよう!私たちの「みあれ祭」

- 学習問題を考え、学習計画を立てよう
- 「海の道むなかた館」へ見学に行こう
- 「みあれ祭」をくわしく調べよう
- 実際に海上神幸をしている人に話を聞こう
- だれが、どんな思いで「みあれ祭」を守っているのか調べよう
- 学習問題について考えたことを話し合おう
- 学習のまとめをしよう(「みあれ祭新聞」を書こう)

学習問題(単元のめあて)

★「みあれ祭」のひみつをさぐろう。

この学習問題について、みんなで考えていきましょうね。これから、学習問題を考えるための計画を立てましょう。



先生



校長先生

「みあれ祭」や「沖ノ島」について、書いてある本やパンフレットを自分で探してみるのも良いですね。

◆学習計画を立てよう

みなさんは、学習問題について、どのようなひみつがあると思いますか。ちよつと予想してみましょう。



たろうさん

きっと「みあれ祭」を守りたいという思いがこめられていると思うな。



たがしさん

「むなかた三女神」という神様のお祭りだから、みんな中止にはいけないという強い思いがあったと思うよ。



むなかた三女神

では、みなさんの予想から、どうすれば学習問題のひみつが分かると思いますか。



やっぱり「みあれ祭」のことを良く知っている人にインタビューしたら分かると思います。



むなかた大社の横に「海の道むなかた館」があるから、そこに行けば、むなかたの昔のことが分かるのではないかな。



むなかたって、世界いさんに関わるいろいろなパンフレットなどもあると思うよ。でも、どこでもらえるのかな。



せっかく調べるから、分かったことを家の人や地いきの人たちに伝えたいな。だって、前から続いているお祭りだからね。



学習計画と、これからの学習の見通しが立ちましたね。

では、次の時間は、「海の道むなかた館」へ行って、むなかたの歴史に詳しい「かまたさん」にお話を聞いてみましょう!



「海の道むなかた館」は、むなかたの歴史・文化を学べる博物館がほしいというむなかたの人の願いや、沖ノ島などを多くの人に知ってもらいたいという思いからできました。

「みあれ祭」は毎年10月1日におこなわれている祭りです。750年前の神事をもとにして、約50年前にはじまったむなかた大社の祭りです。「みあれ」とは強い神に生まれかわるという意味があり、むなかた三女神をのせて、約100せきの船で海上神幸をおこない、港に着いてからは陸上神幸でむなかた大社におむかえするという、むなかた地いきの大きな祭りです。

◆「みあれ祭」をくわしく調べよう

たかしさんたちは、「みあれ祭」についてもっとくわしく調べたいと思い、むなかた大社の神職さんに話を聞きに行きました。



むなかた大社



海上神幸



みあれ祭は、いつごろ始まったのかな。



みあれ祭には、どのような思いがこめられているのかな。



どんな人たちが中心に、お祭りを進めているのかな。



陸上神幸

さらにくわしく調べてみたくなってきたみたいだね。では、むなかた大社の神職さんにお話を聞いてみましょう。



むなかた大社 秋季大祭 日程

10月1日	9:30 10:30 12:00	みあれ祭 海上神幸 陸上神幸 入御祭
10月2日	8:00 11:00	流鏝馬神事 例祭
10月3日	11:00 14:00 18:00	三日祭 献茶祭 高宮神奈備祭



みあれ祭のコース



①10月1日8時30分 大島中津宮を出発



②大島の子どもたちが先導



③たごりひめの神とたぎつひめの神を船へ運ぶ



④御座船を先頭の方にして大島を出発



⑤玄海の子どもたちと陸上神幸



ものすごくたくさんの人たちが、参加している祭りだね。漁師さんだけではなく、小学生も参加しているね。



神様を運ぶから、みこしを使ったり、大きな旗を立てたりしているね。そういえば、服も、いつもとちがう気がするよね。

..... むなかた大社の神職 黒神さんのお話

「みあれ祭」は、もともと「御長手神事」といい、今から約750年前に始まりました。長い年月の間に回数や方法は変わってきましたが、昭和37年に現在の形となりました。むなかた三女神をおまつりして海上神幸や陸上神幸をすることで、「国家の安泰」「航海の安全」「豊漁」の祈りをこめて続けられています。

「みあれ祭」は、むなかた大社をはじめ、むなかた漁業協同組合やむなかた大社氏子青年会、地元消防団などの地域の人たちが中心となって行っています。

しかし、最近では以前にくらべて海上神幸に参加する船の数も減少しています。これからも地域の祭りとしてより多くの人に知ってもらい、絶やさずに守り続けてほしいという願いがあります。



黒神さん



みあれ祭は、むなかた大社の方や、地域の人たちが中心に守り続けてきたんだね。



実際に船に乗って、海上神幸をしている漁師さんにも、話を聞いてみたいな。

◆ 実際に海上神幸をしている人に話を聞こう

たかしさんたちは、みあれ祭の海上神幸のときに、実際に船に乗っている人が近くにいると聞き、インタビューをしてみることにしました。



みあれ祭の海上神幸で実際に船に乗っているなんて、すごいね。



海上神幸の船に乗ることは、なかなかできないらしいよ。どんな気持ちなのかな。



なぜ、みあれ祭の海上神幸に参加しているのかな？理由を聞いてみたいな。



海上神幸で出るたくさんの漁船

..... 福津市消防団団長 吉田さんのお話

私は10年ほど前から、みあれ祭に参加しています。その当時、福津市消防団の水上分団として、消防署や警察署と協力しながら、水難事故の救助や外国人の密航防止などの仕事を行っていました。

その時に、福津の漁師さんの船に乗せていただき、参加したのがきっかけでした。今では福津市の消防団長として、大島の漁師さんの船で参加しています。

船には消防団員をふくめて10数人の人が乗船しています。火事や水難事故が起きないように、「市民の安心と安全」の願いをこめて参加しています。

これからも、自分自身、何のためにみあれ祭に参加しているのか考え、また、未来の子どもたちには、このお祭りを守りながら、次の世代へと伝えてほしいと思っています。



吉田さん



消防団の人たちは、海の事故や市民の安全などを願いながら、みあれ祭に参加しているのだね。



やっぱり、みあれ祭は、いろいろな人の願いがまつた祭りなんだね。だから、たくさんの人や船が参加しているんだね。

もっと、みあれ祭について知りたいという気持ちになったみたいですね。では今度は、実際に船を出している漁師の人たちにも話をきいてみてはどうかな。どんな思いで、船を出しているんでしょうね。



◆ だれが、どんな思いで「みあれ祭」を守っているのか調べよう

たかしさんたちは、むなかた漁業協同組合ではたらく、漁師の中村さんから話を聞き、どんな思いで「みあれ祭」を守っているのか、調べることにしました。



きっと、「みあれ祭」を続けたいという思いはあると思うけど、何で、こつこつという思いになったのかが分からないな。



どんなことを考えながら、船を出しているのかな。どんなことを、私たちに伝えたいのかな。

..... むなかた漁業協同組合の中村さんの話(その1)

① むなかたの海と漁師の仕事

むなかたの海は、魚がたくさんとれるところとして知られています。私たち漁師の主な仕事は、魚をとったり、魚をとるあみを修理したりすることです。むなかたの海は「瀬」とよばれる岩が多くあり、潮がはやく、波があらいのがとくちょうです。そのため、気をつけて漁をしなければなりません。

漁師の仕事はいつも危険となり合わせです。また、いつも漁が上手いくとはかぎりません。魚に出ても全く魚がとれない日もあります。しかし、むなかたでとれる魚は身がしまっていておいしいと評判です。むなかたのおいしい魚をたくさんの人に食べてもらいたいです。実は、とれる魚の量や売上げが年々へってきています。私たち漁師の願いは、おいしい海の幸をたくさんの人に食べてもらいたいです。

だから私たちは、魚がとれない日があっても、きけんだと分かっているでも海へ仕事に出かけるわけです。



中村さん

漁師さんのお仕事はたいへんだね。私たちがおいしいお魚を食べられるのは漁師さんたちのおかげだね。



漁師さんのお仕事は分かったけど、漁師さんとみあれ祭は、どんな関係があるのかな?また、長い間、お祭りを受けついできたのには、何か理由があるはずだよ。

..... むなかた漁業協同組合の中村さんの話(その2)

②みあれ祭と漁師
現在のみあれ祭は、むなかたの海を見守ってくれているむなかた三女神への感謝と豊漁、海の安全を願う祭りとして広がってきました。むなかたの漁師は、みあれ祭に長い間かわり、お祭りを受けついできました。それには理由があります。
1つ目はこれまでの漁について「無事に家に帰してくれて、たくさん魚をとらせてくれてありがとう」と感謝することです。2つ目はこれからの漁について「事故がなく大漁になるようにお願いします」と祈ることです。
お祭りにかかると、事故を起こさないようにと気持ちが引きしまり、何かあれば海の神様が助けられると安心して仕事を続けることができます。みあれ祭がなければ、むなかたの漁師は海に感謝することも祈ることもできません。私たちが、みなさんにおいしい魚をとどけることができるのは、むなかたの海のおかげです。これからもむなかたの海を大切に、みあれ祭を守り、次の若い人たちに受けついでいきたいと思います。

漁師さんたちは、みあれ祭をすることで、魚をとることへの感謝の気持ちを表していたんだね。



みあれ祭をすると、気持ちが引きしまると言っていたよね。仕事と祭りには、深い関係があったんだね。

このような思いがあるから、昔から続いているんだね。とても思いのこもった祭りだね。

さらに、たかしさんたちは、氏子の方にもお話を聞くことにしました。

..... 氏子の花田さんの話

自分が住んでいる地域にある神社を氏神神社といい、この神社がある周辺の地域に住んでいる人を氏子といいます。
今から約1,300年前、大宝律令という日本最初の法律の中で、宗像大社のある宗像地域(宗像市・福津市)は、九州で1ヶ所だけの「神郡」に定められました。そして、その地域に住む人たちは宗像大社の氏子となりました。今では、各地区に、氏子総代と呼ばれるまとめ役の人もあります。
氏子の役わりはさまざま、主に「お祭り」や「行事」のお手伝いをスムーズに行うため、話し合いに参加したり、地域の方々にきふを呼びかけたりと大変なこともあります。
しかし、むなかた大社には魅力があると思います。とくに、地域の人々も楽しみにしているみあれ祭などの大祭は、私たち氏子も楽しみな行事です。これからも地域のお祭りを守っていきたいです。



花田さん



浦安舞のようす



高宮神奈備祭のようす

みあれ祭における氏子の役わりには、上の写真のような祭の中で行われる様々な神事のお手伝い、着付けなどがあります。

氏子さんの役わりは、たくさんあつて大変そうなのに、多くの氏子さんがお祭りにかかわっているようだね。地域の人たちがまとまって、地域のお祭りを支えてきたように思えるね。

最近は氏子さんの数が少なくなったという話を聞いたよ。昔から受けつがれてきたお祭りを、これからも残していけるか、少し心配だね。地域の人たちにもっと、みあれ祭のことを知ってもらいたいね。

◆調べて分かったことをまとめて、学習問題について話し合おう

これまで学習問題のひみつを見つけるために、調べ学習をしたい、たくさん人の話を聞いたりしてきたと思います。そして、「みあれ祭にこめられたねがい」は、どのようなものか、このことについても分かってきたと思います。今日は、みんなで学習問題について調べて、考えたことを話し合ってみましょう。



消防団の吉田さんも、火事や水難事故が起きないように、という願いをこめて、参加していると言っていたよね。
ぼくたちが知っているお祭りと「みあれ祭」への思いとは、ちょっとちがうね。

むなかた大社の黒神さんは、国家の安泰、航海の安全、豊漁のために、「みあれ祭」をしていると言っていたよ。こういう思いは、昔から変わらないのではないかな。

漁師の中村さんは、「無事に家に帰してくれて、たくさん魚をとらせてくれてありがとう」と感謝して、「事故がなく、大漁になるようにお願いします」と祈りながら船を出していると言っていたよ。
何だか、みんな思いや願いは、同じような気がするよ。



仕事はちがっても、思いや願いが同じだから、みんなで「みあれ祭」を続けていこうという思いがあるんだね。
むなかたの祭りは、とてもすごいね。何だか、うれしくなってくるね。

学習問題について、わかってきたようですね。

でも、むなかた大社の黒神さんは、ちょっと困ったことがあると言われていませんでしたか。



海上神幸に参加する人たちが減ってきていると言われていたよ。地域の祭りだから、これからも続けていきたいよね。



ぼくは、地域の人々の思いや願いがお祭りの中にこめられていることが分かったよ。あと、「みあれ祭」を続けていくには、たくさんの人に知ってもらわないとだめだと思うな。まずは、家の人や地域の人に知ってもらいたいな。



わたしは、「みあれ祭」を調べていくことで、地域のお祭りを守ろうと、たくさんの人々がかかわっていたことに、びっくりしました。

こういうお祭りが残っているむなかたを、これからも大切にしていきたいと思いました。

来年の「みあれ祭」は、行ってみたいと思います。

◆学習のまとめをしよう「みあれ祭新聞をかこう」

「みあれ祭」は、約七百年前に行われていた神事をもとにした祭りですが、むなかた大社の黒神さんが言われていたように、参加する人たちが減ってきているそうです。だから、たくさんの人たちに「みあれ祭」のすばらしさを知ってもらうことが大切だと思います。ぼくは、まず「みあれ祭」を見てみます。

「みあれ祭」は、沖ノ島の沖津宮から、大島の中津宮、最後に田島の辺津宮というルートで行われます。その中で、海上神幸と陸上神幸が行われます。小学生も参加しているそうです。

「みあれ祭」は、約七百年前に行われていた神事をもとにした祭りですが、むなかた大社の黒神さんが言われていたように、参加する人たちが減ってきているそうです。だから、たくさんの人たちに「みあれ祭」のすばらしさを知ってもらうことが大切だと思います。ぼくは、まず「みあれ祭」を見てみます。

「みあれ祭」は、沖ノ島の沖津宮から、大島の中津宮、最後に田島の辺津宮というルートで行われます。その中で、海上神幸と陸上神幸が行われます。小学生も参加しているそうです。

みあれ祭新聞

〇〇 たかし

「みあれ祭」とは、どのようなひみつがあるの? どのようなお祭り? 「みあれ祭」は、今から約七百年前に行われていた神事をもとにしたお祭りです。

4年 調べよう!宗像市にある沖ノ島

- 〇〇さんからの話を聞き、学習問題をつくろう。
- 〇 沖ノ島について、資料を使って調べよう。
- 〇 沖ノ島について、もっとくわしく調べよう。
- 〇 調べて分かったことを出し合い、学習問題について話し合おう。
- 〇 いろいろな方法でまとめをしよう。

◆〇〇さんからの話を聞き、学習問題をつくろう

たかしさんたちは、宗像市にある「沖ノ島」が世界遺産になったというニュースや新聞を見て、沖ノ島について知っていることを出し合うことにしました。



たろうさん

世界遺産になったんだよね。知っているよ。とってもうれしいな。



けいこさん

確か沖ノ島は、宗像市にあるんだよね。何だか、うれしいよね。



たかしさん

でも、沖ノ島は宗像市のどの辺りにあるのかな。島ということは、分かるんだけどね。

みんな沖ノ島について、たくさんを知っていますね。

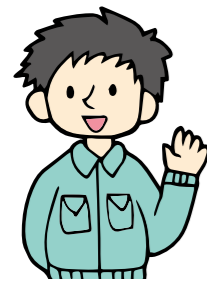
でも、あまりくわしくはないですね。

実は、今日、みなさんにお願いがあるということで、〇〇さんが来られています。ちょっと、お話を聞いてみましょう。



世界遺産登録決定の新聞記事

著作権の関係で表示できません。



〇〇さん

みなさん、こんにちは。私はコミュニティ・センターで働いている〇〇です。実は、コミュニティ・センターで世界遺産になった沖ノ島について、たくさんの人たちに知ってもらいたいと考えています。そこで4年生のみなさんに「沖ノ島コーナー」を作る手伝いをしてもらえませんか。ぜひ、沖ノ島について、たくさん調べてください。よろしくお願いします。



〇〇地区
コミュニティ・センター



ようこそさん

何だか、とてもうれしいよね。ぼくたちが調べたことが、コミュニティ・センターにかざってもらえるなんてね。がんばろう。

でも、どんなことを調べていたら良いのかな。あまりにも難しいことは、調べてみても分からないよ。



〇〇さん

沖ノ島が世界遺産になったのは、昔からのつながりが大きいと思います。まず、調べて欲しいのは次のようなことです。

- ①沖ノ島は、どこにあるの。
- ②沖ノ島は、どんなところなの。
- ③沖ノ島は、どんな気候なの。
- ④沖ノ島は、どんな生き物がいるの。

少し難しいかもしれませんが、私も知りたいことなので、がんばってください。



これだったら、ぼくも調べられそうだな。何だか、早く調べてみたくなったよ。

では、沖ノ島についての本や資料を集めて、調べ学習をしていきましょう。そして分かったことをいろいろな方法でまとめていきましょうね。



学習問題(単元のめあて)

★ 沖ノ島についての資料を集めたり、調べたりして、わかったことや考えたことをいろいろな方法でまとめていこう。



なおとさん

学習問題はできたけど、どんな順番に学習を進めていけばよいか、分からないよ。

学習計画

学習していくこと

- 1 学習問題をつくる。

沖ノ島についての資料を集めたり、調べたりして、わかったことや考えたことをいろいろな方法でまとめていこう。
- 2 沖ノ島について、資料を使って調べる。
 ①沖ノ島は、どこにあるの。
 ②沖ノ島は、どんな生き物がいるの。
- 3 もっと、くわしく調べる。
- 4 学習問題について、わかったことや考えたことを話し合う。
- 5 話し合ったことをもとにして、いろいろな方法でまとめをする。

◆沖ノ島について、資料を使って調べよう



沖ノ島について調べ学習をしていくことになるけど、何を使って調べようかな? 良い方法はないかな。

(1)沖ノ島って、どこにあるの。(沖ノ島の位置)



「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の地図

実は、沖ノ島についての分かりやすい資料は、あまりないのです。だから、この「ふるさと宗像BOOK」を使って調べてみましょうね。



2017(平成29)年7月12日に、「[[神宿る島]宗像・沖ノ島と関連遺産群]が、世界遺産に登るくされました。

「[[神宿る島]宗像・沖ノ島と関連遺産群]とは、沖ノ島、小屋島、御門柱、天狗岩、沖津宮遙拝所、中津宮、辺津宮、新原・奴山古墳群の8つからなります。その1つ沖ノ島は宗像市にあります。一体、どこにあるのでしょうか?

沖ノ島は福岡から77km、宗像市の神湊から57km、大島から49kmのところにあります。沖ノ島は、周りが約4km、東西約1km、南北約0.5km。また、面積は約683,800㎡、一番高いところは243mです。

宗像市の沖合いに浮かぶ沖ノ島。近くの海を流れる対馬暖流の影響で霜がおりず、気温も皆さんが住んでいる宗像の陸地より北にあるのに暖かい気候です。潮の流れが速く、波の荒い海域としても知られています。



海に浮かぶ沖ノ島

(2) 沖ノ島には、どんな生き物がいるの? (沖ノ島の生き物と植物)

宗像市の陸地よりも暖かい気候ということで、どんな生き物が住んでいるのでしょうか?

実は、「一木一草一石をも持ち出してはならない」という沖ノ島のおきてによって、今も手つかずのままの自然が残されています。

島をおおっている草・木は、暖かい地域に自生する亜熱帯植物もあり、約180種類の草・木が生えています。この島より北では亜熱帯植物が自生できないともわれています。

その植物の代表は、オオタニワタリがあります。オオタニワタリは、大きな岩にしがみつくとように生育しています。また、沖ノ島に昔から生えている原生林の中は、渡り鳥の重要な繁殖地でもあります。沖ノ島や小屋島では、東南アジアなどから、飛んでくる約10万羽のオオミズナギドリをはじめ、絶滅が心配されているカンムリウミスズメ(国の天然記念物)やヒメクロウミツバメなど、現在14種類が確認されています。

ヒメクロウミツバメは、体長およそ19cm。小屋島でおよそ100羽が繁殖をしています。国内では5ヶ所ほどしか繁殖地が確認されておらず絶滅が心配されています。動物では、ヘビがいない島であることから、ネズミやトカゲなどの小動物が多く見られます。



沖ノ島の森の様子



オオタニワタリ



カンムリウミスズメ



ヒメクロウミツバメ



クマネズミ



ニホントカゲ

昔から生息していたと思われる全長10cmよりも短くて尾の短いオキノシマジネズミ、体長30cmほどのクマネズミ(別名ツナバシリ)、体長20cmほどのドブネズミの3種類のネズミの生息が確認されていました。しかし、この50年以上オキノシマジネズミは、確認されておらず、現在も生息しているのか心配されています。

沖ノ島は、犬猫も上陸禁止です。特に、逃げ出して野生化したら大変です。そのときは、駆除をして、自然のままの状態を守るようにしています。

鳥たちのえさ場となる周囲の海は、ブリやタイ、イカ、アワビ、サザエなど、多くの魚介類が生息する海の幸の宝庫となっています。宗像市の漁場としても重要な場所となっています。

沖ノ島の近くの海での漁は、漁を許された漁師だけしかできません。沖ノ島では、ありとあらゆる魚がとれ、カワハギ、タイ、イサキなどが釣れます。ワカメは2月から4月、ムラサキウニは5月から6月、サザエとアワビは7月から8月にとれます。沖ノ島の海はとてもきれいで、とても澄んでいます。そのおかげで、7~8m先の深さにあるウニやサザエも見えます。

◆ 沖ノ島について、もっとくわしく調べよう



沖ノ島について調べ学習をして、とてもくわしくなった気がするよ。
沖ノ島は、とても自然がいつばいなところだということが分かったよ。



でも、どうして、こんなに自然がいつばいなのかな。
どうして、自然が守られているのかな。

確かにふしぎですね。どうして手つかずの自然が残されているのでしょうか。今日は、その疑問を解決していきましょう。
その疑問を解決していくために、海の道むなかた館の方にお話を聞いてみましょう。



海の道むなかた館の方のお話

メモ

◆調べて分かったことを出し合い、学習問題について話し合おう

これまでの調べ学習で分かったことや、海の道むなかた館の方の話を聞いて分かったことをもとにして、いろいろな方法でまとめることが、はつきりしてきたと思います。
今日は、このことについて、みんなで話し合ってみましょう。では次の4つのことから話し合ってみましょう。



沖ノ島はどこにあるの?

沖ノ島の自然は?

沖ノ島の生き物は?

沖ノ島の近くの漁場あしやうは?



沖ノ島は、宗像市神湊なだの北西の方角で、玄界灘の中央に浮かぶ島です。宗像市よりも気温が高く、暖かい島です。昔からの言い伝えて、今も手つかずのままの自然が残っています。そのため、珍しい植物や生き物がいます。また、沖ノ島の海もきれいで、たくさんの種類の魚が泳いでいます。

次の時間は、今日話し合ったことを、自分の言葉でいろいろな方法でまとめていきましょう。例えば、「沖ノ島新聞」にまとめたい人は、下の例を参考に書いてみましょう。そして、コミュニティ・センターの〇〇さんに、見てもらいましょう。



◆世界遺産「沖ノ島新聞」をつくろう

世界遺産! 沖ノ島新聞

〇〇けいこ

沖ノ島って、
どんなところ?
二〇一七(平成二十九)
年七月に世界遺産に登
録された沖ノ島は、何と

宗像市にあります。沖ノ島は、神湊の北西の方向、五十七kmのところ
に浮かぶ島です。対馬暖流の影響で、霜が降りることがなく、宗像
市の本土よりも、あたたかい気候となっています。
あたたかい気候なので、木や草は亜熱帯植物が生えています。
たとえば、オオタニワタリがあります。また、ピロウというヤシノ
キと同じ種類の植物も生えています。

社説 この学習をして、わたしは…

この沖ノ島の学習をして、宗像市に世界遺産となった沖ノ島があ
ることを、やはりすごいと思いました。

〇〇さんが言われていたように、手つかずの自然や生き物がある
ことにもすごいと思いました。行くことはできないけれど、何だか
宗像が好きになりました。

あとがき

(これからに向けて…)

この学習では、くわしくは調
べることはできなかったけど、
沖ノ島には古い宝物が発見さ
れているようなので、それも調
べてみたいと思いました。

〇〇さんから

聞いたこと

海の道むなかた館の〇
〇さんから、どうして沖
ノ島には自然が多いのか、
について話を聞きました。

ここには、〇〇さんから
聞いたことを書いてみよう!



沖ノ島

三三三三発見! その1

最後の大宮司宗像氏貞 (戦国時代)

室町時代には、宗像氏は中国地方から北九州にかけて勢力をもった大内氏の家来になり、大内氏から黒川という姓をあたえられました。1551年(天文20年)に大内義隆が陶晴賢に攻められた時、当時の大宮司宗像氏男が大内義隆とともに自害し、宗像氏の後継ぎをめぐる争いがおこりました。争いに勝った黒川鍋寿丸はやがて大宮司宗像氏貞となります。氏貞は、山口の毛利氏と大分の太田氏という2つの戦国大名のあいだにあって、宗像の領地を支配していました。1559年(永禄2年)に、氏貞は大友氏にせめこまれ大島や地島にのがれますが、翌年毛利氏や宗像の人々の協力を得て、大島を出て宗像の領地をうばい返しています。氏貞が宗像の人々にしたわられていたことがわかります。氏貞は1586年(天正14年)に42歳でこの世を去ります。氏貞には男子の後継ぎがいなかったため、宗像家は氏貞をもって絶えてしまいます。氏貞の墓は、上八に今もあります。

※くわしくは
たんけん ほっけん
「探検!発見!むなかた」の
P66、67を見てみよう!



氏貞の墓(上八)

三三三三発見! その2

宗像の山城 (鎌倉時代から安土・桃山時代)

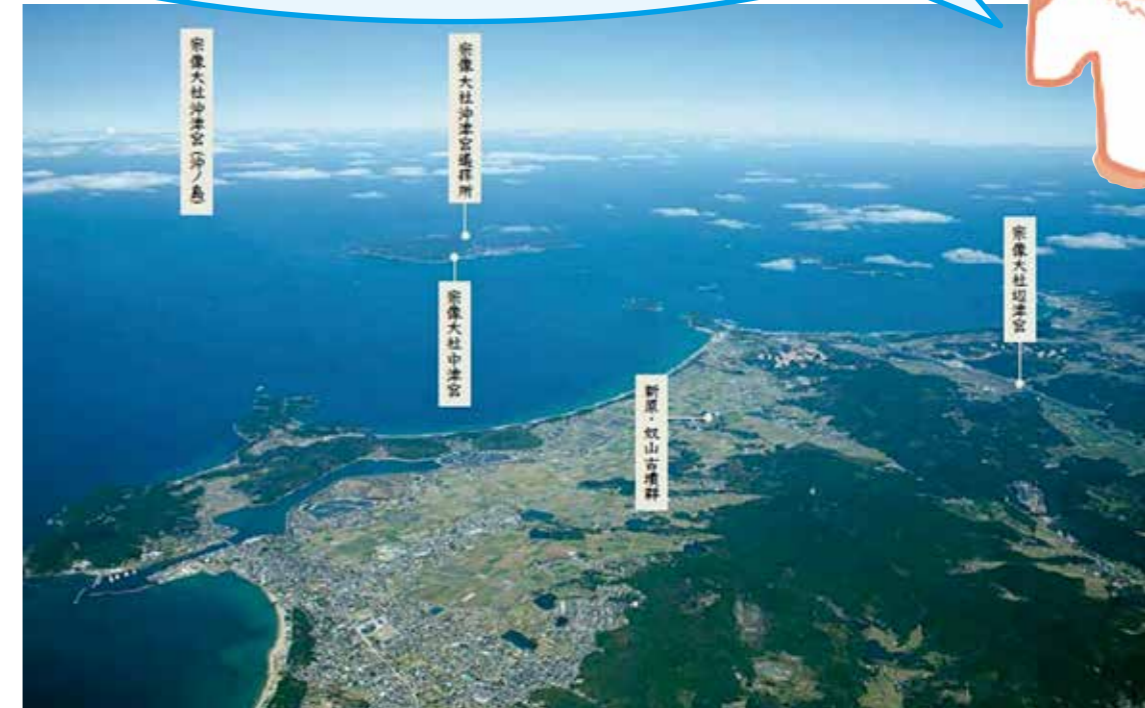
鎌倉時代から安土・桃山時代の間、世の中は乱れ、領土をめぐる戦が各地でおこなわれます。宗像の地も例外ではありませんでした。領主の宗像氏は、領地に山城や砦をつくり、外から攻めてくる敵を防ぎました。山城は、敵が攻めにくく、味方がたてこもりやすいけわしい山の上に土手や柵などを設けてつくりました。戦のないときは、城のある山のふもとに館に住んでいましたが、戦になると山城にたてこもって戦いました。宗像氏は、20以上の山城や砦をつくったといわれています。そして、これらの山城や砦は、宗像を囲むようにつくられており、攻めるためではなく宗像の地を守るためにつくられたものであったようです。

※くわしくは
たんけん ほっけん
「探検!発見!むなかた」の
P68、69を見てみよう!



【中期】5・6・7年生

世界遺産を調べ、発信しよう!



(上)空から見た「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群 (下)沖ノ島における遺跡の地図



はしめに
前期①(1・2年)
前期②(3・4年)
中期(5・6・7年)
後期(8・9年)

はしめに
前期①(1・2年)
前期②(3・4年)
中期(5・6・7年)
後期(8・9年)

5年 考えよう!世界遺産のすばらしさ



2 5 6 出典:文化庁「世界遺産(文化遺産)一覧」(www.bunka.go.jp)

◆世界遺産とは何かについて考え、学習問題をつくろう

4年生の時には、沖ノ島について調べて、沖ノ島新聞を作ったけど、他にはどのような世界遺産が日本にあるのかなあ。

そうだね。日本にある世界遺産は、他にどこに、どのような世界遺産があるのかなあ。

学習問題(単元のめあて)

★ 日本にある世界遺産について調べ、なぜ世界遺産に登録されたのか考えよう。

学習問題はできたけど、どんな順番に学習を進めていけばいいのかなあ。

学習計画

学習していくこと

- 学習問題をつくる。
日本にある世界遺産について調べ、なぜ世界遺産に登録されたのか考えよう。
- 調べ学習をする。「日本の自然遺産や文化遺産について、調べよう。」
 - ①世界遺産の位置は。
 - ②世界遺産の登録時期は。
 - ③世界遺産の特徴は。
 - ④世界遺産の価値やよさは。
- 調べたことを発表する。
 「世界遺産について調べてきたことを発表し、特徴や共通点を見つけよう。」
- さらに、考え話し合う。
 「日本にある世界遺産が、なぜ、世界遺産として登録されたか考えよう。」
- 調べてきたことをまとめる。
 「日本の世界遺産について、調べてきたことをまとめていこう。」

日本のどこに、どのような世界遺産があるのでしょうか。
 自分たちで、いろいろな資料から調べてみましょう。



◆日本の自然遺産や文化遺産について調べよう

世界遺産とは、どのようなものをいうのだろうか。
 自分の言葉で説明できるかな。
 登録までにどのようなことが必要なのかなあ。

世界遺産って何?

・世界遺産は、1972年にユネスコ総会で採択された「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約」(世界遺産条約)にもとづいて登録された文化遺産や自然遺産で、国や民族をこえて守らなければならない世界の宝物です。

・2017年(平成29年)7月現在、ユネスコの世界遺産リストにある遺産は1073件です。

・そのなかにはエジプトのピラミッドや、中国の万里の長城、オーストラリアのグレートバリアリーフなどがあります。日本で登録されている世界遺産は21件で、奈良や京都の文化遺産、原爆ドーム、厳島神社、琉球王国のグスク、自然遺産は白神山地、屋久島などです。

世界遺産に登録されるまでに、どのようなことが行われていくのかな。

世界遺産登録までの流れ

- 世界遺産条約を締結した国が、世界遺産にしたいリストを作成します。
- 日本国政府が、ユネスコ世界遺産センターに推薦書を出します。
- ユネスコ世界遺産センターは、文化遺産はICOMOS(国際記念物遺跡会議)に、自然遺産はIUCN(国際自然保護連合)に、調査を依頼します。
- 世界遺産委員会はICOMOSやIUCNの調査結果を参考に審議して、世界遺産に登録するかどうかを決定します。

注)ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は、諸国民の教育、科学、文化の協力と交流を通じて、国際平和と人類の福祉の促進を目的とした国際連合の専門機関です。2012年9月現在、190カ国が加盟し、本部をフランスのパリに置いています。

世界遺産に登録されるためのきまりには、どのようなものがあると思いますか。

文化遺産登録の基準(きまり)

- 人間の創造的才能を表す傑作である。
- 建築、科学技術、記念碑、都市計画、景観設計の発展に重要な影響を与えた、ある期間にわたる価値観の交流又はある文化圏内での価値観の交流を示すものである。
- 現存するか消滅しているかにかかわらず、ある文化的伝統又は文明の存在を伝承する物証として無二の存在(少なくとも希有な存在)である。
- 歴史上の重要な段階を物語る建築物、その集合体、科学技術の集合体、あるいは景観を代表する顕著な見本である。
- あるひとつの文化(または複数の文化)を特徴づけるような伝統的居住形態若しくは陸上・海上の土地利用形態を代表する顕著な見本である。又は、人類と環境とのふれあいを代表する顕著な見本である(特に不可逆的な変化によりその存続が危ぶまれているもの)
- 顕著な普遍的価値を有する出来事(行事)、生きた伝統、思想、信仰、芸術的作品、あるいは文学的作品と直接または実質的関連がある(この基準は他の基準とあわせて用いられることが望ましい)。

世界遺産として登録されるまでには、いろいろなきまりがあるんですね。

(注)地図中の
水色の丸数字・・・文化遺産
ピンク色の丸数字・・・自然遺産

出典:外務省「我が国の世界遺産一覧表記載物件」(www.mofa.go.jp)を加工して使用

我が国の世界遺産 2017(平成29)年7月現在 合計21件 ()数字:登録基準

日本の世界遺産の特徴や共通点を見つけよう。

なぜ世界遺産として登録されたのかについて考えよう。

自分の考えを書いてみましょう。

日本の世界遺産について、調べてきたことをまとめよう。

出典:文化庁「世界遺産(文化遺産)一覧」(www.bunka.go.jp)を加工して使用

6年 『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の価値



◆これまでの学習を振り返って、学習問題をつくろう

4年生の時には、沖ノ島について調べて、沖ノ島新聞を作ったね。

5年生の時には、日本にある世界遺産について調べ、なぜ世界遺産に登録されたのか考えてきたよね。

みなさんは、これまでに沖ノ島のことについて、学習し、くわしくなってきましたね。では、宗像大社や古墳群などの関連遺産群について、何か知っていますか。

そう言われると、宗像大社や古墳群などの関連遺産群については、まだ知らないことが多いなあ。

学習問題(単元のめあて)

★ 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群について調べ、世界遺産登録へ向けて尽力した人たちの思いや願いを受け継ぎ、私たちのまちの世界遺産のみ力を発信しよう。

学習計画

学習していくこと

- 学習問題をつくる。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群について調べ、世界遺産登録へ向けて尽力した人たちの思いや願いを受け継ぎ、私たちのまちの世界遺産のみ力を発信しよう。

 - 調べ学習「フィールドワーク」をする。
 - 宗像大社 ②海の道むなかた館 ③神宝館
 - 大島(中津宮・沖津宮遙拝所・大島交流館) ⑤新原・奴山古墳群
 - 調べたことをもとに、話し合い、ガイドブックにまとめる。
- 世界遺産登録推進に関わった人の思いや願いを追究する。
 - 世界遺産登録に尽力した人たちの思いや願いを受け継ごう。
 - 〇〇さんを囲んで、世界遺産登録の思いを聞こう。
 - 世界遺産登録に尽力した様々な人たちの話を聞き、世界遺産登録につながった思いや行動を整理しよう。
 - 世界遺産登録に尽力した様々な人たちの話を聞き、わかったことをガイドブックにまとめよう。 → 「P65・P66も参考にしてみよう。」
- 世界遺産に登録されて自分たちにできることを実行する。
 - 私たちのまちの世界遺産の魅力をたくさんの人に知ってもらうために自分たちにできることを考えよう。
 - 発表会の準備をしよう。
 - 伝えたいことの優先順序を話し合おう。
 - 見通しをもって計画的に準備を進めよう。
 - 互いの発表を聞き合い、改善点を出し合おう。
 - 発表会を開こう。

世界遺産のみ力や世界遺産登録に尽力した人たちの思いや願いが伝わる発表会にしよう。
 - 学習に協力してくださった方たちと一緒に学習を振り返り、本単元の学習をまとめよう。これまでの学習を振り返り宗像の世界遺産の魅力とそれに尽力した人たちの思いや願いを再確認しよう。

自分たちが知りたいテーマについて、次の資料などを使って、どんどん調べていこう

◆宗像の歴史について学ぼう

みんなはもう、日本の歴史を勉強したかな。歴史の教科書に出てくる旧石器時代から奈良・平安時代までのそれぞれの時代から、当時の宗像の様子を伝える遺跡が見つかるよ。では、大昔の暮らしをわしといっしょに探検に行こう。



時代	年	日本のおもなできごと	年	宗像のできごと
日本のあけぼの	旧石器時代	約12,000年前 ～ 約2,400年前	約20,000年前	田野瀬戸遺跡 池浦トボシ遺跡
	縄文時代	約2,400年前	約3,500年前	鐘崎貝塚(漁や狩りのくらし)
国のなりたち	弥生時代	239 小さな「クニ」ができる。 邪馬台国の女王卑弥呼が魏に使いを送る。	約2,200年前	光岡長尾遺跡 (共同で米のたくわえ) 田熊石畑遺跡 (「クニ」ができる)
	古墳時代	369 *大和朝廷が国土の統一を進める。	4世紀後半	東郷高塚古墳 (宗像のリーダーの墓)
		400 大和朝廷が使者を中国に送る。 ・前方後円墳が各地にさかんにつくられる。 ・大陸の文化が伝わる。(漢字、おり物、土木技術など)	6世紀中頃	沖ノ島で祭祀が始まる。 ・宗像人が大和朝廷の中国、朝鮮半島との交易で活やくする。 ・鉄や須恵器の生産がおこなわれる。
		6世紀末	桜京古墳(装飾古墳)	
貴族の世の中	飛鳥時代	604 聖徳太子が十七条の憲法を定める。	654 (655の説もある)	胸形君徳善の娘、尼子娘が天武天皇の子、高市皇子を産む。
	奈良時代	607 遣隋使を中国に送る。 630 遣唐使を中国に送る。 645 大化の改新が行われる。 654 都を奈良(平城京)に定める。 710 ・「古事記」、「日本書紀」ができる。		武丸大上げ遺跡(駅家跡)
平安時代	794 894	都を京都(平安京)に移す。 遣唐使をやめる。 武士が力を持ち始める。		沖ノ島の祭祀が終わる。
	1185	平氏と源氏が争う。 壇ノ浦の戦いで平氏が滅びる。		

*大和朝廷(やまとちょうてい)は、ヤマト王権という言い方もある。

時代	年	日本のおもなできごと	年	宗像のできごと
武士の世の中	鎌倉時代	1192 1274 1281 1333	1263	宗像長氏、鎮国寺建立
	室町時代/戦国時代	1338 1392 1397	1336	足利尊氏敗走し、大宮司館に入る。 沖ノ島にて御長手神事 (「正平年中行事」)
		1467 1489 1543 1549	1368	足利尊氏が京都に幕府を開く。 南朝と北朝が統一される。 足利義満が金閣を建てる。
		1573	1368	各地に大名が誕生する。 応仁の乱が起こる。 足利義政が銀閣を建てる。 ポルトガル人が鉄砲を伝える。 ザビエルがキリスト教を伝える。
安土桃山時代	1587	1554	菊姫騒動おこる。	
	1590	1562 1566 1578 1586	宗像氏貞城山に城を築く。 宗像氏貞中津宮造営する。 宗像氏貞辺津宮本殿修築する。 宗像氏貞死去。	
江戸時代	1600 1603 1641 1867	1590	小早川隆景辺津宮拝殿寄進する。	
	1868	1590	豊臣秀吉が全国を統一する。	
	1894 1904	1600 1603 1752	黒田長政筑前に入国する。 黒田如水地島に波止を築く。 釣川河口を大改修する。	
	1923 1925	1865	五卿(尊王攘夷派の公家5名)赤間宿御茶屋に滞在する。	
近代の日本	明治時代	1894 1904	九州鉄道博多～赤間開通する。 沖ノ島沖にて日本海海戦おこる。 鹿児島本線城山トンネル開通する。 出光商会開業する。	
	大正時代	1923 1925	1911 1913 1926	東郷駅開業する。 沖の島原始林、国天然記念物指定される。
戦後の新しい日本	昭和時代	1941 1945	1942 1954	宗像神社復興期成会発足する。 沖ノ島第1次調査
		1956 1964	1957 1969	沖ノ島第2次調査 沖ノ島第3次調査
	1972	1971	「宗像神社境内」国の史跡に指定	
	平成時代	1995 2002 2011	1988	教育大前駅開業する。
	1995 2002 2011	2003 2005 2009 2015 2017	宗像市と玄海町が合併する。 宗像市と大島村が合併する。 ユネスコ暫定リストに記載 国内推薦候補決定される。 世界文化遺産登録される。	

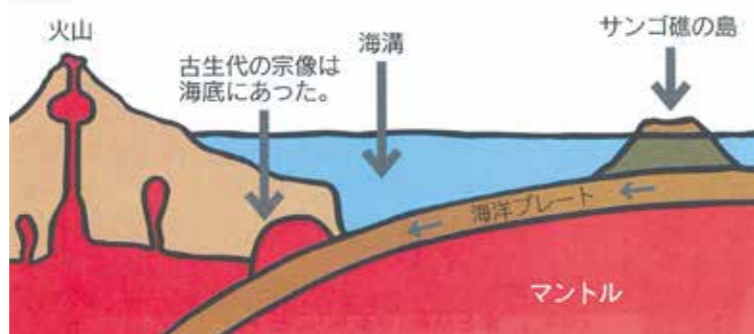
◆宗像のはじまり

みんなは地層というものを知っておるかな。
 地層というのは泥や砂、石ころ(礫)などが積み重なって
 できている地面の下にある層のことじゃ。
 これを調べると昔のいろいろなことがわかるのじゃ。



古生代

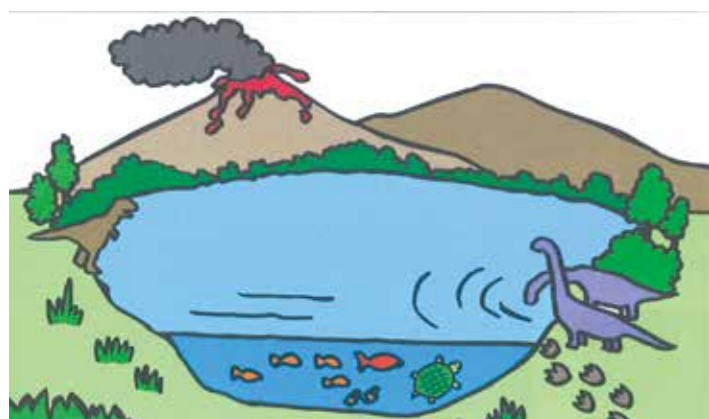
宗像地域で見つかった最も古い地層は、約3億6,000万年前から2億8,600万年前の古生代石炭紀と呼ばれる時代のものです。この地層は、宗像では大穂の南側の一部でしかみられませんが、篠栗町から宮若市にかけてたくさんみ



古生代

られます。この時代の宗像は大陸からはなれた海の底で、近くには海溝がありました。南からは海洋プレートによって運ばれたサンゴ礁の島が大陸にぶつかりました。有名な山口県の秋吉台や北九州市の平尾台などの石灰岩台地はそのときにできたものと考えられています。

中生代



中生代(古脇野湖想像図)

その後、約1億3,000万年前の中生代白亜紀前期まで、時代がわかる地層は見つかりません。そのころの宗像は、大陸の一部になっていたと考えられています。このころはマグマの活動がとてもさかんになり、大地がもりあがったり沈んだりしていました。四塚と呼ばれる山々はこの頃にできたようです。吉武や王丸からたく

さんとれる真砂土は、このときのかこう岩などが風化したものです。

大地が沈んだところは湖となりました。宮若市から北九州市にかけては、古脇野湖と呼ばれる現在の琵琶湖ぐらい大きな湖があったと考えられています。その証拠に、小倉では魚の化石(ディプロミスタス・コクラエンシスなど)が、宮若市千石峡では巻貝(プロティオプシス・ワキノエンシスなど)や亀の甲羅の一部、さらには肉食の恐竜(ワキノ・サトウリュウ)の歯などがみつかりました。

新生代

恐竜がさかえた中生代が終わると、私たちの祖先である哺乳類が活躍する新生代が始まります。吉武の東側と自由ヶ丘から天平台、大井ダム周辺に新生代第三紀の地層が露出しています。1992(平成4)年に吉武の露出した地層から、大形哺乳動物の化石が見つかりました。現在のバクに近い仲間がコリフォドンと呼ばれています。コリフォドンの仲間は中国ではたくさん見つっていますが、日本では初めて見つかった動物化石でした。2014(平成26)年6月に、コリフォドンが見つかった岩石を研究する途中に、サイの仲間であるヒラキウスの化石も発見されたという報道がありました。



コリフォドンの復元図



コリフォドンの化石

三三三発見! その3

日本最古のサイの化石が宗像に・・・!?

サイの仲間としては日本最古の化石が、福岡県宗像市吉留から2014(平成26)年発見されました。化石は4,500万年以前のもので、おそらく4,800万年前頃のヒラキウスのもので考えられます。アジアにおいても最古級のサイの化石です。

サイの仲間の化石は、1992年に発見された別種類の大型哺乳類(コリフォドン)の化石を含む、同じ岩石から見つかりました。宗像市吉留の大焼層から発見されたコリフォドン科の化石を、福井県立恐竜博物館の宮田主任研究員と化石を所蔵する北九州市立自然史・歴史博物館が共同研究を進め、2011年から始まった化石周囲の岩石を取り除く作業中にヒラキウスの化石を発見しました。化石はほぼ完全な歯列をとともなう下顎骨と右踵骨、肋骨の一部、大腿骨とみられる骨が含まれます。化石はまだ岩石の中にあるとみられるため、全ての部位はまだ明らかではありませんが、下顎骨の大きさから推定される体長は150cm、背の高さは75cmほどです。



サイの仲間の化石

このころ筑豊一帯は広大な湿地帯が広がり、宗像もその一部だったと考えられ、この層からは珪化木とよばれる木の化石が数多く見つかっています。また、蒸気機関車などの燃料として使われていた石炭も、この時代の植物が枯れて沼などで発酵し炭化したものです。



珪化木(木の化石)

その後、大陸の一部だった宗像は、海水の流入によって大陸との間に海ができます。(約3,500万年前～約2,300万年前)宗像市内ではそのころの地層は見つかりませんが、福津市の渡半島の北側や、遠賀郡芦屋町から北九州市若松区の西側にかけて分布しています。福津市では、木の葉の化石や珪化木を含む陸地であったころの地層と、その後でできた貝殻やサメの歯、鯨の骨などを含む海底であったころの地層がどちらも分布しています。



貝の化石
(アシヤニシキ貝など)



木の葉の化石

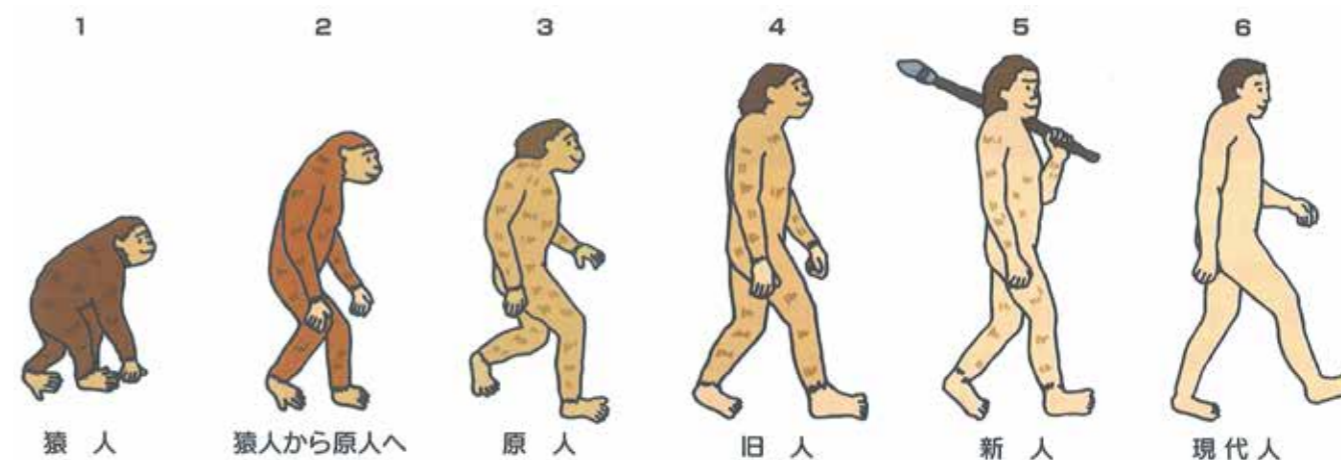
新生代第四紀のはじめころ(約180万年前)になると、ほぼ今のような地形になったと考えられています。ただ、海岸線はその後時代によって変化をくり返していたようです。現在の海岸であるさつき松原は約10,000年前からできてきた砂丘ですが、その南側にある現在の玄海ゴルフ場付近には、約十万年前以降にできた古い砂丘がひろがっています。



福津市 渡半島

◆宗像人はどこから来たの(旧石器時代)

人類が2本の足でアフリカの大地に立ってから、現在まで800万年とも500万年ともいわれる時間が流れています。この時間の流れの中で人類は、数百万年の時間をかけて猿人(ホモ・ハビリス)から原人(ホモ・エレクトゥス)に、また、数十万年をかけて原人から旧人(ホモ・サピエンス・ネアンデルターレンシス)、旧人から新人(ホモ・サピエンス・サピエンス=現代人の直接の先祖)へと進化して来たのです。



猿人から人間までの進化図



マンモスを追いかける人々の想像図

人類の直接の先祖となる新人が誕生したころの地球はヴュルム氷期とよばれる氷河期にあたり、大きな環境の変化が起きていました。気候は寒冷で海が凍ることにより、海水面が下がり、大陸の北の方では植物が枯れてしまい、食べ物をもとめて動物たちは南へ移りすむようになりました。日本列島では、九州と朝鮮半島、北海道とシベリア半島で海域が狭くなり、陸の橋となっていました。このころ生きていた

マンモスやナウマン象、オオツノシカなどの動物も大陸から日本列島へ渡ってきたのでしょう。北九州市の洞窟などからは、ナウマン象の化石などが発見されています。また、この動物たちを追いかけて、人類の直接の祖先となる新人も同様に日本列島にやってきたのかもしれない。

人類の直接の先祖となる新人は、宗像市へもちろん来ていたようです。その証拠となる道具が、宗像市やその周辺の地域(福津市・遠賀郡など)で発見されています。

道具は石で作られたもので、石器とよばれています。この石器は、縄文時代や弥生時代で使われた石



狩猟想像図

器とは作り方が違い、黒曜石など、打ち割るとするどく割れる石を利用してつくられています。ヤリ先につけてつかったり、ナイフのように突き刺したり引き裂いたりするものや、彫刻刀のように木や骨やシカの角などを削るものなど、いろいろなものに使われていました。この道具がつくられた時代には土器が発見されていないこと、土器が発見されている縄文時代や弥生時代の石器と作り方が違うことから、この時代を旧石器時代とよんでいます。

河東西小学校区域の池浦地区にある池浦トボシ遺跡、赤間西小学校区域の平等寺地区にある平等寺長浦遺跡・玄海東小学校区域の田野地区にある田野瀬戸遺跡から、旧石器時代の石器が発見されています。



田野瀬戸遺跡の石器(約20,000年前)



池浦トボシ遺跡のナイフ形石器

◆狩に漁に活躍する宗像人(縄文時代)



縄文の人々の暮らし



現在の鐘崎貝塚の様子

宗像の地で、人々の暮らしがはじまったのは、池浦トボシ遺跡などで旧石器時代の石器が見つかることから、少なくとも20,000年以上前だったと思われます。

縄文時代(約13,000年~2,400年前)になると、日本の各地にある遺跡によって人々の暮らしのようすがはっきりとわかってきます。宗像でも鐘崎上八のさつき松原の砂丘の上にある縄文時代後期(約3,500年前)の鐘崎貝塚から知ることができます。

鐘崎貝塚からは縄文土器をはじめ、磨かれた石おの、石さじ、矢じりなどの石器や、シカの角や骨で作られた釣針などの道具、サメの歯でつくった耳かざり、貝のうで輪など身につけるもの、それから食料としていたサザエ、アワビ、ハマグリ、アサリ、アカガイ、シジミなどの貝殻、タイやブリなどの魚の骨、またシカやイノシシなどの動物の骨が見つかります。

鐘崎貝塚から出土した遺物



シカのツノでつくったかんざし

貝がら(テングニシ)

貝輪(うで輪)

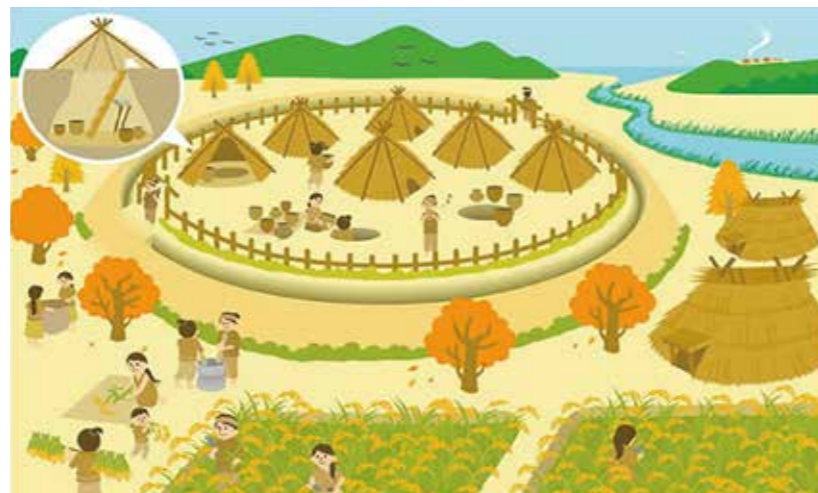
縄文土器

◆釣川の恵みで米づくりにはげむ宗像人(弥生時代)

宗像市の真中を流れる釣川は、古くから宗像に住む人々に豊かな恵みをもたらしてきました。

宗像に深く入り込んでいた海は、気候の変化で後退するとともに、釣川から運ばれる土砂によって湿地向と変わり、宗像平野がつくられていきました。

今から2千数百年前、米づくりの技術を持った人々が、朝鮮半島南部から北部九州に渡ってきました。米づくりを中心として、共同の新しいくらしがはじまった時代を、弥生時代といいます。



弥生の人々のくらし



弥生土器(いずれも久原遺跡、現在のユリックス)

弥生時代になると、米づくりで食物のたくわえができ、くらしが安定していくにつれて人口も増え、リーダーが選ばれ、小さなムラができました。そして、米づくりに欠かせない土地や水をめぐって、ムラとムラとの間で争いがおこっていきました。さらに、力の強いムラは弱いムラを従えて大きなムラとなり、やがてクニができていきました。

稲作が始まったころのことをしめす道具



(左)銅ほこ・久原遺跡
(右)銅剣・久原遺跡

光岡長尾遺跡の石器
(左)石包丁 (中)石剣 (右)石おの

土笛(光岡長尾遺跡)
日本で発見されている最大級のもの



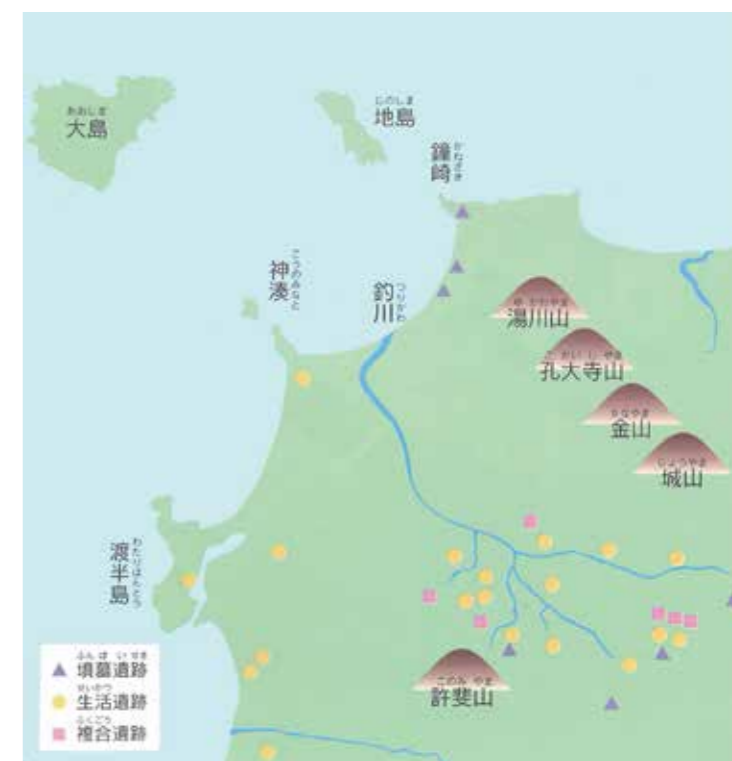
穴ぐらから見つかった炭化した米



矢じり

この頃の中国の歴史の書物には、西・北部九州に伊都国、奴国、不弥国といったクニがあったと書かれています。

また、邪馬台国には女王卑弥呼がいて、たくさんのクニを従えていたとも書かれています。釣川沿いには上流から中流にかけて、小高い丘が突き出るようになっています。そこに、弥生時代の遺跡がたくさんあります。



釣川流域の弥生時代の遺跡マップ



光岡長尾遺跡の航空写真(現在国道3号線光岡交差点周辺)

上の写真は光岡長尾遺跡です。この場所は小高い丘の上であり、久原の平野を遠くまで望むことができます。

この遺跡は弥生時代の中頃(約2,000年前)のもので、ムラで収穫した米を共同で貯蔵するための穴ぐらがいくつも掘られていました。

そしてその穴ぐらを囲むように、幅が4メートルほどの深い溝が掘られ、溝にそって高い柵で囲まれていました。

出入口は2カ所だけで、中にはけものや人が簡単に入れないようになっていました。

穴の中から土笛が見つかりました。祭りなどで使われたのでしょうか。また、溝の中からは矢じり(弓矢の矢の先に付けるとがった石)がたくさん見つかっています。

矢じりは、ムラ以外の者や許可なく入ってくる者から食料を守るための、武器として用いられたものと思われます。

釣川の流域には他にも弥生のムラがあり、それぞれのムラムラでは、光岡長尾遺跡のムラと同じように、共同で収穫した米を保管する施設を持っていたと考えられています。

ムラどうしがお互いに行き来をしたり、時には水や土地、米の収穫をめぐる争いをおこしたりしながら、人びとのくらしは営まれていました。

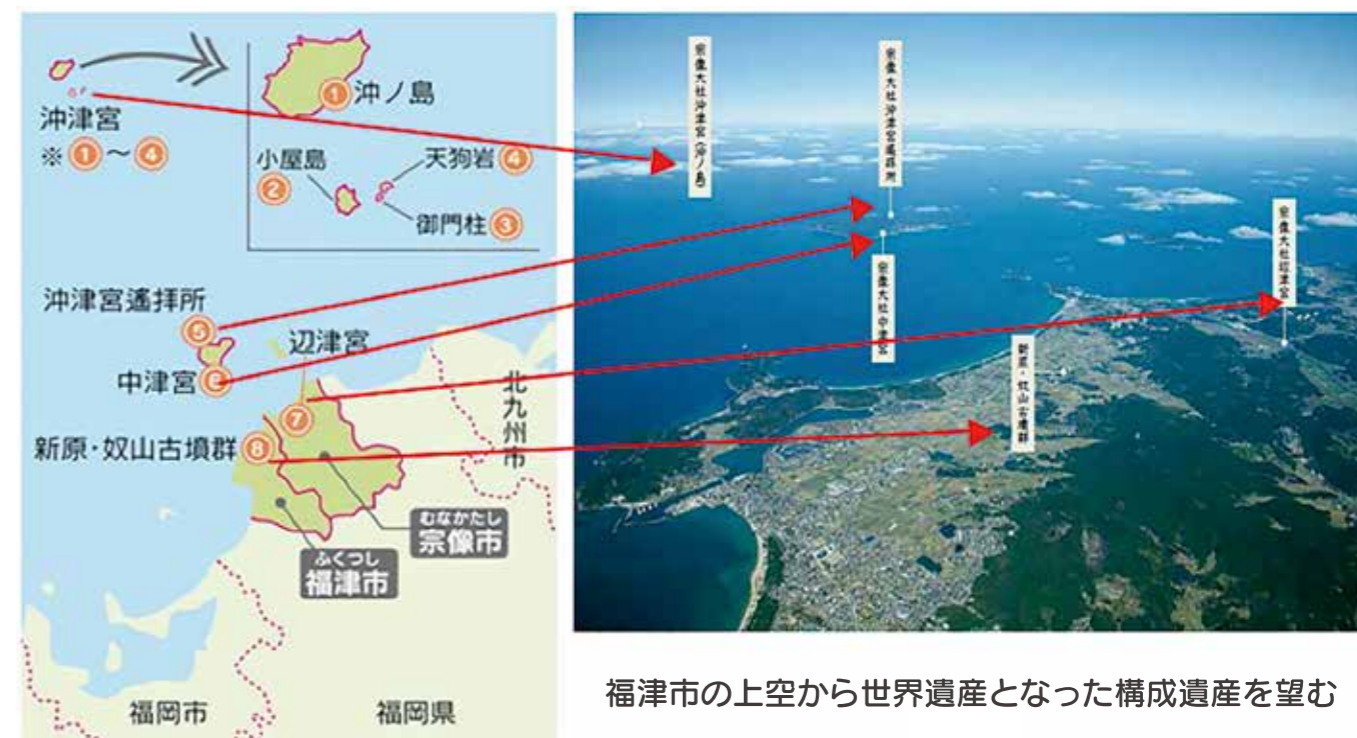
沖ノ島での祭祀(古墳時代～平安時代)



沖ノ島の位置(福岡市・大島・釜山からの距離)

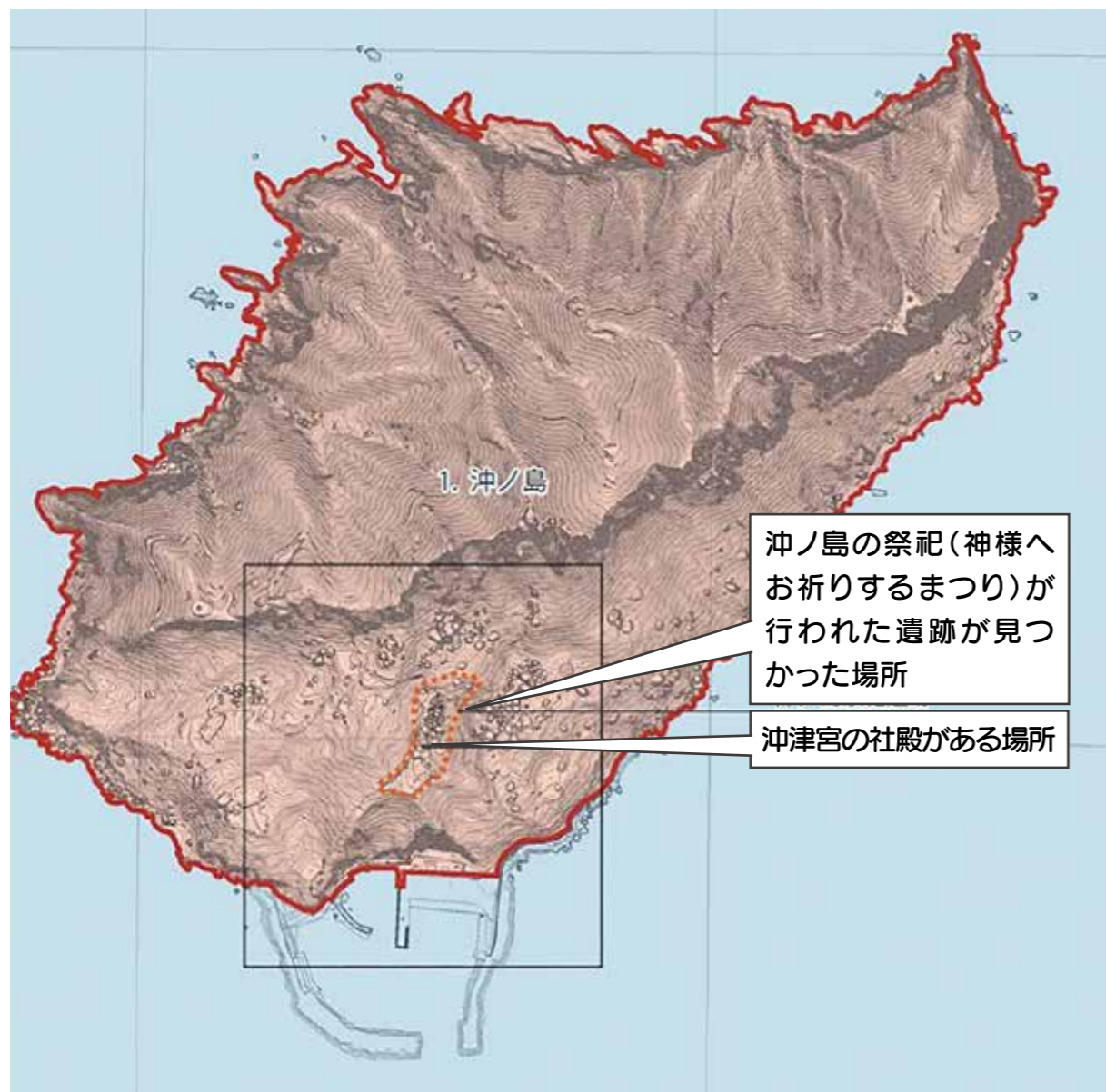
(1) 沖ノ島の位置

沖ノ島は福岡から77km、神湊から57km、大島から49kmの場所にあります。



福岡市の上空から世界遺産となった構成遺産を望む

(2) 沖ノ島の様子と沖ノ島の祭祀



沖ノ島の様子(祭祀が行われた場所・沖津宮がある場所)

沖ノ島は島の周りが約4km、面積は約683,800㎡、一番高いところは標高243mです。また、沖ノ島の南東1kmには小屋島(面積18,900㎡)御門柱(面積約1,500㎡)天狗岩(面積約1,900㎡)の三つの岩場があり、沖ノ島、小屋島、御門柱、天狗岩をあわせて宗像大社沖津宮といます。

九州の北部から朝鮮半島へと向かう海にある沖ノ島は、昔から航海の目印であり、4世紀後半から日本と中国大陸、朝鮮半島の交流がさかんになると、国の安寧を願い、沖ノ島で祭祀(神様へお祈りするまつり)が始められました。この祭祀は、宗像氏といわれる、宗像地域を支配していた人たちが参加して、国レベルでの大切な祭祀として行われたので、「国家祭祀」といわれています。沖ノ島で行われた祭祀遺跡の位置は、四段階に変わっていたことが

分かっており、このようにはっきりと昔の祭祀の様子分かる遺跡は他にはありません。調査によって鏡や馬の飾り金具など約8万点もの素晴らしい品々が見つかり、すべて国宝となっています。その中には中国大陸や朝鮮半島との交流によってもたらされたものも含まれています。沖ノ島の祭祀の遺跡は大変良い状態で保存され、祭祀の移り変わりだけでなく昔の日本の外国との交流の様子を今に伝えています。

(3) 沖津宮



宗像大社 沖津宮(本殿・拝殿)の様子

古代に行われていた祭祀が終わった後も、沖ノ島は「神宿る島」として受け継がれ、島全体が沖津宮の境内でした。17世紀までには、古代に祭祀が行われていた大きな岩の間に社殿が建てられています。現在の沖津宮社殿は1932年に建て直されたもので、三女神のうち田心姫神がまつられています。

このように大切にされ



禊の様子

た沖ノ島では、今まで続く厳しいきまりが生まれていきます。裸で海に入る「禊」をしなければ島に上がることができない、島で見たり聞いたりしたことを話してはならない、島からいっさい何も持ち出してはならない、島の中で四本足の動物を食べてはいけない、縁起の悪い言葉は別の言葉で言い換えるなど、これらのきまりによって、沖ノ島は昔のまま現在まで守られています。現在は、宗像大社の神職が1人10日交代で島で生活し、毎日禊を行い社殿での神事を行なっています。

※忌言葉: 沖ノ島と周辺海域で使われていたというこのきまりは、明治以降なくなっています。

宗像地域の漁業をしている人
たちも沖ノ島に宿る神への信仰
はあつく、自分たちが沖ノ島の神
に守られているという気持で、魚
などをお供えして豊漁や漁の安
全などを願っています。

また、小屋島・御門柱・天狗岩
の三つの岩場はまた、沖ノ島に行
く時の天然の鳥居の役割を果た
しており、今も沖ノ島に向かう船
は岩場の間を通り、港へと入って
いきます。このように、沖ノ島の祭
祀遺跡や島の豊かな自然は、厳し
いきまりなどの伝統によってほ
とんど人の手が加えられること
なく守られてきました。



10日で交代する神職



右より小屋島、御門柱、天狗岩の3つの岩場

(4)発見された物

沖ノ島は、なぜ「海の正倉院」と呼ばれたのかな?



【三角縁神獣鏡】

縁の断面が三角の形をした鏡です。背
面に神様や獣がデザインされています。
古墳時代の有力者のお墓から出土して
います。



【金製指輪】

5世紀につくられた内径1.8cmの純
金製の指輪。



【金銅製龍頭】

竿の先につけて、旗などを下げる
ための飾りで、二つ出土しています。



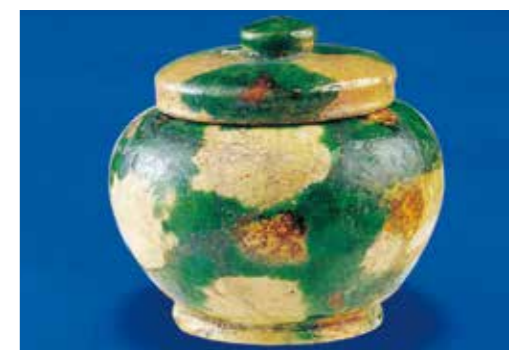
【金銅製歩揺付雲珠】

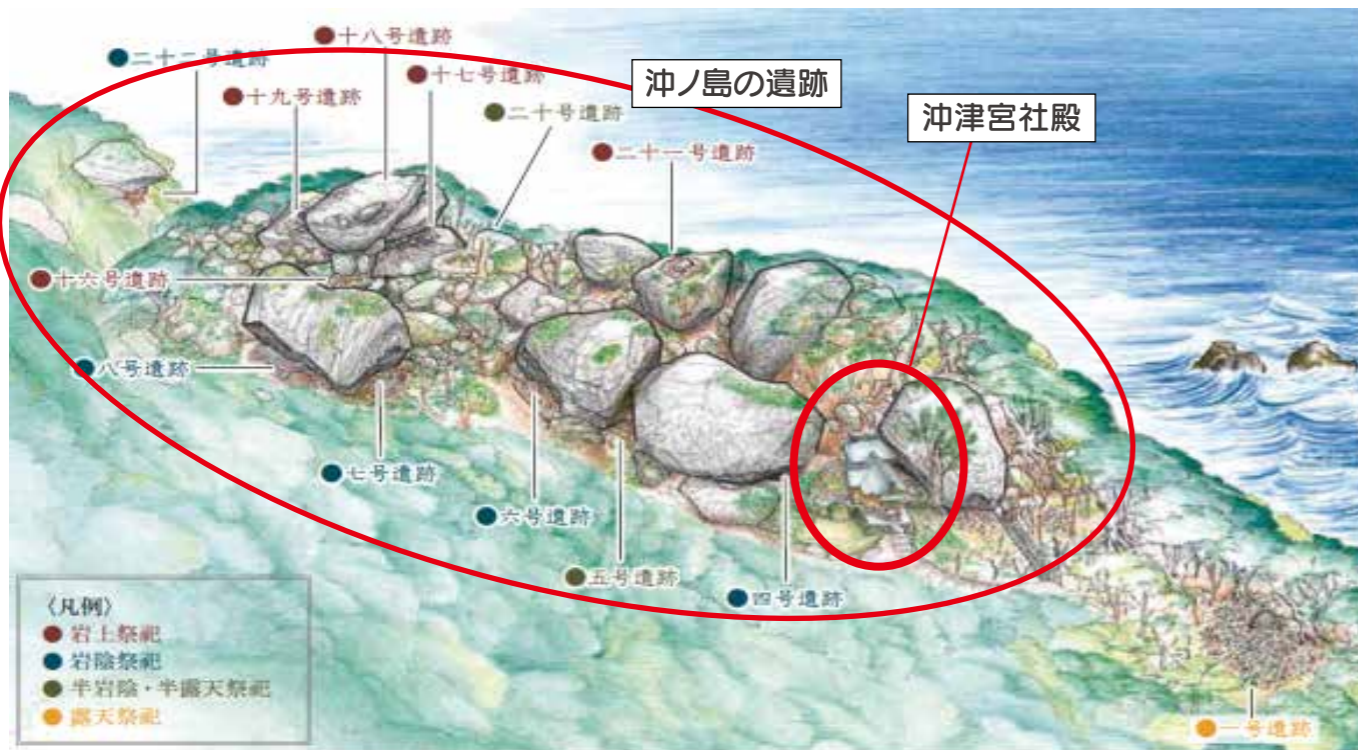
馬を飾るための装飾品。



【奈良三彩有蓋小壺】

唐(中国)の三彩の技術をもとにつ
つた釉薬をかけた国産の焼き物です。





沖ノ島の遺跡と沖津宮社殿の想定図(実際は森におおわれています。)



外国との交流を示す出土品



岩上遺跡の場所

祭祀に使われた鏡や土器など、沖ノ島から出土した国宝の数は約8万点にもなります。シルクロードを
通って、イラン(ペルシャ)から運ば
れてきたものも含まれています。

これらのことから沖ノ島は「海の
正倉院」とも言われています。

(5) 遺跡の移り変わり

沖ノ島での約500年間、4世紀後
半から9世紀末まで祭祀が行われ
ました。祭祀の遺跡は、岩上→岩陰
→半岩陰・半露天→露天という四
段階で発見された奉物が変遷して
います。

①【岩上】4世紀後半から5世紀

大きな岩の上から、鏡や勾玉、鉄剣などが見つかっています。



鏡



勾玉



鉄剣

②【岩陰】5世紀後半から7世紀



岩陰遺跡の場所

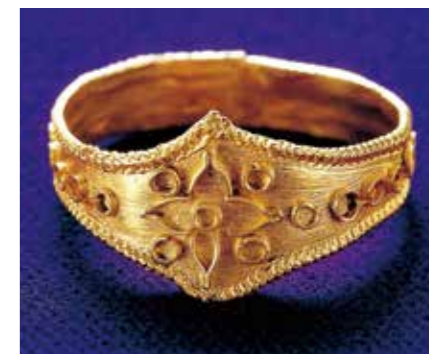
ひさし状になっている大きな岩の陰に供えられていた物は、かれた葉っぱの下に当時の
ままの状態が残されていました。(下の写真:発見された宝物)



雲珠



杏葉



金製指輪

③【半岩陰・半露天】7世紀後半から8世紀前半

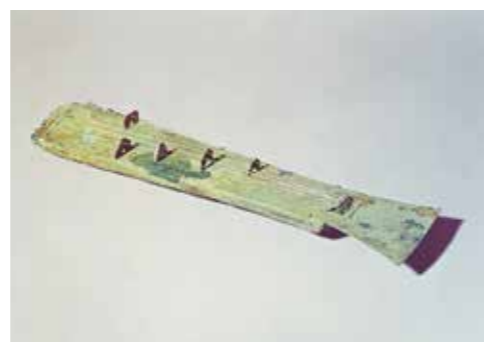
わずかな岩の陰と多くの露天(屋根のないところ)の両方にまたがって土器などが見つかっています。



とうさんさい
唐三彩



こんどうせいりゅうとう
金銅製龍頭



ひながたごげんきん
雛形五弦琴

④【露天】8世紀から9世紀



露天遺跡の場所

この頃になると、大きな岩から離れた平らな場所でたくさんの供えられていた物が見つかり、何度も繰り返して祭祀が行われていたことが分かります。



ならさんさい
奈良三彩



ふじゅしんぼう
富寿神宝



ひとがた
人形



うまがた
馬形



ふながた
舟形

7年 宗像にある世界遺産の価値を伝えよう

◆ 沖ノ島に関する課題をまとめて、学習問題をつくろう

学習問題(単元のめあて)

★ 沖ノ島などの世界遺産には、どのような価値があるのか調べ、その価値や魅力を伝える発信方法を考え、発信していこう。

学習計画

学習していくこと

- 学習問題をつくる。

沖ノ島などの世界遺産には、どのような価値があるのか調べ、その価値や魅力を伝える発信方法を考え、発信していこう。
- 沖ノ島に関する課題や疑問点を解決するために資料を分析し、発信方法を考える。(分析する視点)
 - ①歴史的価値
 - ②発見されたもの
 - ③人々の思いや願い
- 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群について、専門家・関係者から話を聞き、発信方法を再検討する。
 - ・世界遺産登録において苦労したこと
 - ・宗像市民の反応(世界遺産登録についての肯定的な意見、批判的な意見)など
- クラスから最も素敵な発信方法を一つ選出する。
 - ・例えば、沖ノ島のキャッチフレーズをつくり、発信しよう。

沖ノ島に関する課題や疑問点を解決するために資料を分析しよう。



おきな かつ たいしや おき つ みや よう はいしよ
(1)宗像大社沖津宮遙拝所



おき つ みや よう はいしよ
沖津宮遙拝所の様子



おき つ みや よう はいしよ
沖津宮遙拝所の社殿(正面)



おき つ みや よう はいしよ
沖津宮遙拝所の社殿(中)

おき つ みや よう はいしよ
沖津宮遙拝所は、沖ノ島から約48km 離れた大島(周囲16.5 km、面積7.45km²)にあります。いつもは行くことができない沖ノ島を遠くから拝むために、宗像大社の一部として建てられました。遙拝所の入り口には、「寛延三年」(1750年)と刻まれた石碑があり、少なくとも18世紀中頃までには大島の北側の海辺に沖ノ島の方角を向いて遙拝所があったことを示しています。現在の社殿は、1933年に建てられたものです。空気の澄みきった日には、水平線上に沖ノ島が姿を現します。沖ノ島を「神宿る島」として崇める伝統を象徴する場所です。



遙拝所から見た沖ノ島の様子

おきな かつ たいしや なか つ みや
(2)宗像大社中津宮



おきな かつ たいしや なか つ みや
宗像大社中津宮(本殿・拜殿)の様子



なか つ みや み たけさん さいし い せき
中津宮と御嶽山祭祀遺跡

中津宮は、大島にある宗像大社を構成する三つの宮の一つで、宗像三女神のうち湍津姫神がまつられています。

大島で最も高い御嶽山(標高224m)山頂に御嶽山祭祀遺跡があります。ふもとの中津宮社殿と御嶽山祭祀遺跡とは山道で結ばれ、一体のものとして中津宮を作っています。

御嶽山山頂からは、北西方向に沖津宮、南東方向に辺津宮を見ることができ、沖津宮と辺津宮を結ぶ直線上に中津宮の御嶽山祭祀遺跡があることが分かります。

現在の中津宮本殿は、17世紀前半頃に建て直したものとされています。



御嶽山山頂から見た沖津宮

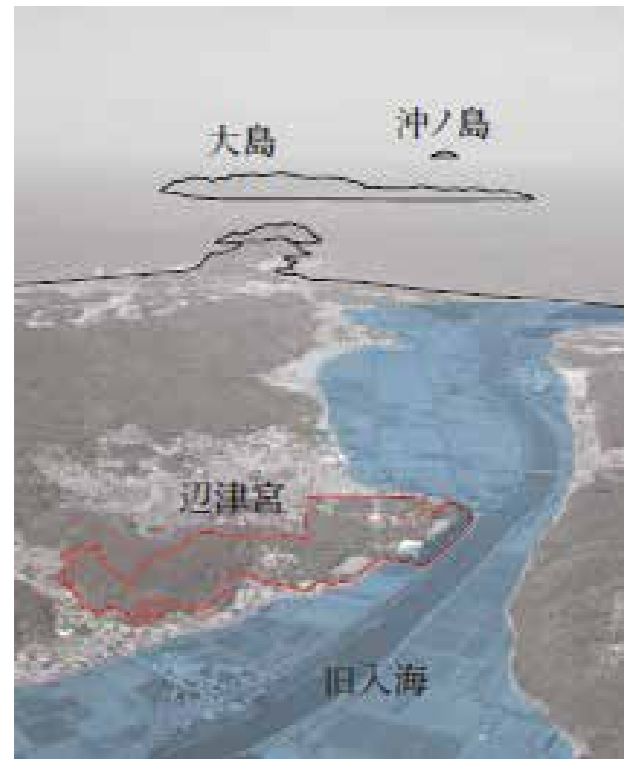


御嶽山山頂から見た九州本土

はしめに
前期①(1・2年)
前期②(3・4年)
中期(5・6・7年)
後期(8・9年)
(3)宗像大社辺津宮



宗像大社辺津宮(本殿・拝殿)の様子



辺津宮の周りの様子

辺津宮は、かつて入海であった釣川下流沿いにあります。宗像大社を構成している三つの宮の一つであり、宗像三女神のうち市杵島姫神がまつられ、宗像大社の神事の中心となっています。

釣川を見下ろす宗像山の中腹に古代の祭祀の跡である下高宮祭祀遺跡があり、そのふもとに社殿が建っています。下高宮祭祀遺跡からは、沖ノ島や御嶽山祭祀遺跡から見つかった供え物と同じようなものが見つかっていて、遺跡の一部は高宮祭場として整備され今も神事が行われています。

辺津宮の社殿は12世紀には建てられていたことが記録により分かっています。現在の辺津宮本殿は、1578年に最後の宮司となった宗像氏貞が建て直したものであり、拝殿は小早川隆景によって、1590年に建て直されたものです。

宗像大社本殿は、1578年に最後の宮司となった宗像氏貞が建て直したものであり、拝殿は小早川隆景によって、1590年に建て直されたものです。



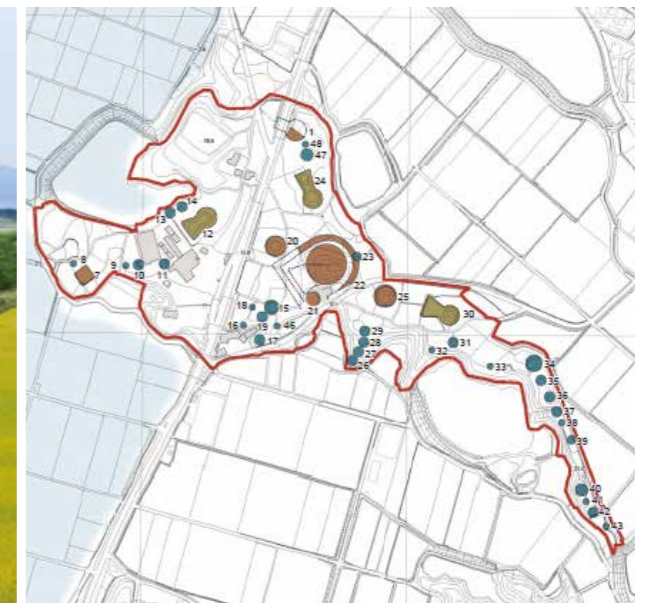
今も祭祀の場所として使われている高宮祭場

辺津宮境内には、かつて第一宮と呼ばれた辺津宮本殿のほか、第二宮、第三宮といった社殿があり、市杵島姫神とともに沖津宮の田心姫神や中津宮の湍津姫神もまつられています。

前期①(1・2年)
前期②(3・4年)
中期(5・6・7年)
後期(8・9年)
(4)新原・奴山古墳群

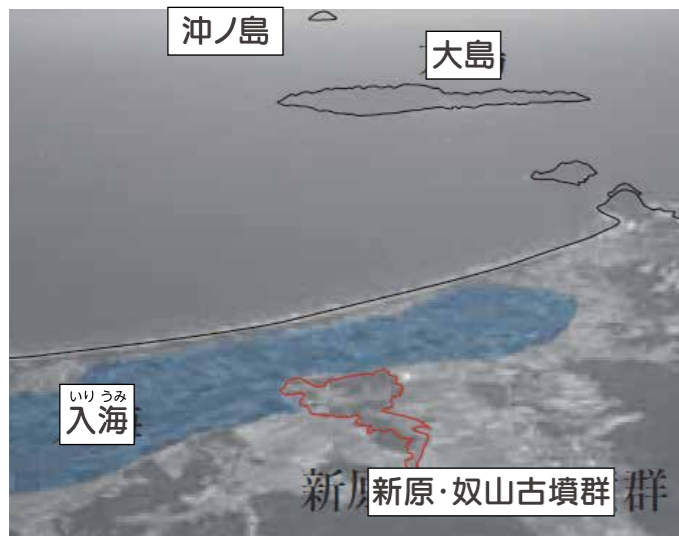


新原・奴山古墳群の様子(写真)

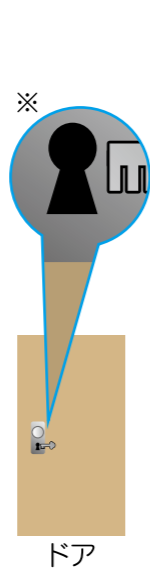


新原・奴山古墳群の様子(古墳の位置と形)

新原・奴山古墳群は、沖ノ島祭祀を行い、今の宗像三女神の信仰につながる伝統をつくった古代豪族宗像氏とよばれる人々の古墳(お墓)の集まりで、宗像に約2,800基あった古墳の中で、その代表として選ばれました。



昔の入海と新原・奴山古墳群、大島、沖ノ島の様子



この古墳群は、昔、入海だった所を見渡す台地上にあります。古墳の種類は、*かぎの穴のような形をした前方後円墳、丸い形の円墳、四角い形の方墳と様々な形の古墳があります。その数は前方後円墳5基、円墳35基、方墳1基の合計41基です。沖ノ島で祭祀が始まった4世紀後半には、釣川の中流域に全長64mの前方後円墳である東郷高塚古墳が作られました。5世紀前半になると、全長100m前後の古墳は海から船でやってくる人々によく見えるよう、福津市の入海の東側に集中して作られます。古墳づくりは7世紀中頃まで続き、70~100m程度の前方後円墳を含む大規模な古墳群として国の史跡に指定されています。

これらの古墳の中でも、新原・奴山古墳群は、5世紀から6世紀という長い期間にわたって大小さまざまな古墳が集まって作られていて、かつての宗像氏の勢力や性格をよく伝えています。

三三三発見! その4

田熊石畑遺跡を知っていますか?



2008(平成20)年4月より発掘調査が行われ、約3.1万㎡の全域に弥生時代を中心とした集落が発見されました。なかでも当初予想していなかった弥生時代中期前半(紀元前2世紀)頃の有力者集団の墓域が見つかり、調査した6基の墳墓から副葬品として合計15点の武器形青銅器などが出土するなど大きな成果が上がりました。玄界灘の東辺部に位置する弥生時代のムナカタ族が、北部九州屈指の有力集団として成長していたことが分かるなど、きわめて重要な遺跡であることから、2010(平成22)年2月22日に国の史跡に指定されました。

この遺跡の場所は、「いせきんぐ宗像」という公園になっているよ。どんな宝物が出てきたかは、「むなかた電子博物館」で紹介しているよ。



◆世界遺産登録に向けた苦労や願いとは?

世界遺産登録のために、どのような人々がどのような思いや願いを持って、どのような努力をしたのでしょうか?



審議を見守る当時の谷井市長(前から2列目の左)

ポーランドのクラクフで開かれた第41回世界遺産委員会で「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が審議され、2017(平成29)年7月9日、イコモス勧告で除外された4資産を含めた8つ全ての資産が認められ7月12日に世界遺産一覧表へ記載されました。

市長のコメント

第41回ユネスコ世界遺産委員会において、私たちが強く願っていた全資産の一括登録という結果に喜びと感動がこみ上げ、万感の思いです。

登録活動がはじまって15年。ようやく世界遺産登録にたどり着きました。ここまで登録活動にご尽力いただいた専門家委員、イコモス勧告以降、関係者に対し、最後までていねいに粘り強く説明していただきました文化庁・外務省をはじめとする関係省庁、福岡県・福津市の関係者、企業のみなさまに感謝申し上げます。そして、何よりも長い間応援していただいた宗像市民のみなさまをはじめ、この活動に携わっていただきました全ての方々に深く感謝申し上げます。

今は登録を素直に喜びたいと思いますが、世界遺産に登録されるというのは、先人たちが守り伝えてきた世界に類例のない貴重な財産を、将来にわたって守り続ける義務を負うということでもあります。今後も、市民のみなさまはじめ、国、福岡県、福津市と手を携えながら、資産の適切な保存・保護、活用に努めてまいりたいと思います。



世界遺産委員会では、どのような話し合いが行われて、登録に結びついたのでしょうか?

世界遺産委員会での主な審議内容

- 8つの構成資産は、文化的・歴史的に結びついた一体のものであり、本資産の価値を理解するためには8つ全ての構成資産が必要である。
- 本資産は、航海安全を祈願する信仰が古代から現在まで絶え間なく続いていることを示しており、価値が高い。
- 航海に関する資産は、今の世界遺産一覧表には少ない分野であり、本資産が世界遺産一覧表へ加わることは、世界遺産一覧表の質の向上に貢献する。

◆400人が登録を見守った視聴会

世界遺産委員会の様子が海の道むなかた館でインターネット中継されました。審議予定日の7月8日には約300人、登録が決まった7月9日には約400人の市民や関係者のみなさんが集まりました。視聴会では同時通訳が行われ、各国の委員が8つの構成資産の一括登録を支持する内容を発言する度に拍手や歓声が起こりました。議論の末に4つの資産に限った内容だったイコモスの勧告から一転、議長が8つの資産一括での世界遺産一覧表への記載を採択し、その決定のアナウンスが会場に流れると参加者の割れんばかりの大きな拍手の音が響き渡りました。

2002(平成14)年に始まった世界遺産登録活動が実を結ぶまでの15年間、さまざまな立場で活動に携わり、応援してきた参加者であふれた会場には、感激の涙を流す人、周りの人と握手を交わす人など、あちこちで喜びや安堵の音が聞かれました。



◆沖ノ島等の価値を伝える方法を考えて、発信していこう。

自分たちで、できそうな発信方法を考えたり、見直したりして、よりよく発信する方法などを考えていきましょう。



発信方法は？(どのような方法で、いつ、どこで、誰に、発信していけばいいでしょう)



【後期】8年生・9年生

自分たちにできることを
考え、発信しよう!



宗像の過去における歴史や人々の思いを学んできたみなさん。

これから『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」の価値を守り、伝えていくだけではなく、未来へ続くこの宗像のまちを、我が国日本を、どのように創っていくかは、みなさん一人一人の力にかかっています。

さあ、自分たちにできることを考え、自分たちだからこそできる発信をしていくのじゃ。

8年 日本の世界遺産(京都・奈良)から見えてくるもの 「修学旅行で宗像を発信しよう!」

◆自分たちで、追究していくための学習問題を設定しよう

学習問題(単元のめあて)

修学旅行 フィールドワークのめあて(自分や班)

皆さんが楽しみにしている修学旅行で、これまでの学習の成果をまとめ、私たちのふるさと宗像を紹介してみよう。どのような方法があるでしょうか。

例1) 京都に来ている観光客に宗像市の世界遺産を紹介しよう。

- 1 どうやって宗像市の世界遺産を知ってもらうか、その方法を考えよう。
- ★ これまで学習してきたことをまとめ、発信するための方法を決めましょう。
 - ★ パネルや新聞、紙芝居など、どのような方法がよいでしょうか。

2 修学旅行までの計画を立てよう。

★ 修学旅行までの日程を考え、いつまでに何をやるかなどがひとめで分かる計画表を作りましょう。

10月中旬～	リーフレット作成
11月下旬	リーフレット完成
12月初旬	宗像大社や海の道むなかた館の方にリーフレットを添削してもらおう
12月 (修学旅行)	清水寺・金閣寺に分かれ、観光客に沖ノ島と関連遺産群を紹介
12月 (修学旅行)	宿泊先にリーフレットを置いてもらう

3 グループでリーフレットを作成しよう。

★ リーフレットに載せる内容やレイアウトをグループで決め、役割分担をしましょう。

みあれ祭とは・・・?

みあれ祭とは、毎年10月1日に福岡県宗像市の宗像大社秋季大祭【田島放生会】※たしまほうじょうやの最初に行われる海上航海の安全や大漁などを願って行われる祭礼である。



開催日はいつ・・・?

開催日は、10月1日ー「みあれ祭」
10月1日ー3日ー「放生会」
!新原・奴山古墳群



沖ノ島の出土品

沖ノ島の国宝は約8万点
戦後、沖ノ島への本格的な学術調査によって、約8万点の奉納品が出土しすべてが国宝に指定されました。
国宝は様々な土器や人形、馬形などの石製品も含まれ、当時の日本と世界を結ぶ証として、沖ノ島は、『海の正倉院』と呼ばれるようになりました。

金製指輪

5世紀頃の純金製指輪。
花文様と円文をほどよくあしらひ、気品に満ちた輝きを放っています。



沖ノ島上陸

島の禁忌

島全体が御神体で今でも、様々な禁忌によって宗像大社の神主が、一人で守っている。
毎年5月27日の、日本海海戦を記念して、祭典が行われているが渡島はできない。しかし、大島にある宗像大社沖津宮遷拝所から沖ノ島にある、沖津宮を遙拝することができる。

島のルール

島全体が天然記念物であるため、島内の「一木一草一石」たりだけは、o kとも持ち帰ることは、許されない。





リーフレットを作ったのじゃな。
清水寺などで直接世界遺産を紹介することも考えたようじゃ。宿泊先にリーフレットを置いてもらうのも良いアイデア。
さすが8年生じゃ。

はじめに
前期①(1・2年)
前期②(3・4年)
中期(5・6・7年)
後期(8・9年)

はじめに
前期①(1・2年)
前期②(3・4年)
中期(5・6・7年)
後期(8・9年)

三女神ってなに?

三女神とは

沖ノ島の沖津宮・大島の中津宮・宗像の辺津宮に祀られている女神を合わせて三女神という。名前は、長女『田心姫神』次女『湍津姫神』三女『市杵島姫神』という。

A 宗像大社沖津宮

沖ノ島にあり、三女神のうち長女の田心姫神が祀られている。島へは立ち入ることはできない。

B 宗像大社沖津宮遙拝所

大島にある。立ち入ることができない沖ノ島にある沖津宮を、遙拝する場所。

C 宗像大社中津宮

宗像市大島にあり、三女神のうち次女の湍津姫神が祀られている。

D 宗像大社辺津宮

九州本土にあり、三女神のうち三女の市杵島姫神が祀られている。



新世界遺産 「神宿る島」宗像・沖ノ島 と関連遺産群



宗像大社に一番近い
中学校生徒が書いた!!

行きたくなる注意!!

福岡県宗像市立〇〇中学校 2年〇組〇班

4 宗像大社や海の道むなかた館の方にリーフレットを添削してもらい、見直そう。

★ リーフレットができあがったら、他のグループの人や先生、保護者だけでなく、専門家の方に見てもらうのもよいでしょう。多くのアドバイスを聞いて、よりよい作品にしていきましょう。

5 修学旅行で観光客の方に世界遺産を紹介しよう。



一生懸命発信してあるな。
観光客の方も熱心に聞いてくれているようじゃ。
ここで出た質問などは持ち帰って、
もう一度学び直しをするとさらによいぞ。



6 宿泊先にリーフレットを置いてもらい、PRしよう。

受付に置かせていただいたのじゃな。
みんなが修学旅行から帰ってからも、手にとって見てくれる人がきっといるじゃろう。



7 修学旅行を振り返ってみよう。

★ これまでの学習の振り返りをしましょう。できたこと、わかったことだけでなく、新たに出た課題を解決することも重要です。

例2) 京都に来ている外国人観光客に英語で宗像市を紹介しよう。

1 どうやって宗像市の世界遺産を知ってもらうか、その方法を考えよう。

★ これまで学習してきたことをまとめ、発信するための方法を決めましょう。パネルや新聞、紙芝居など、どのような方法がよいでしょうか。

2 修学旅行までの計画を立てよう。

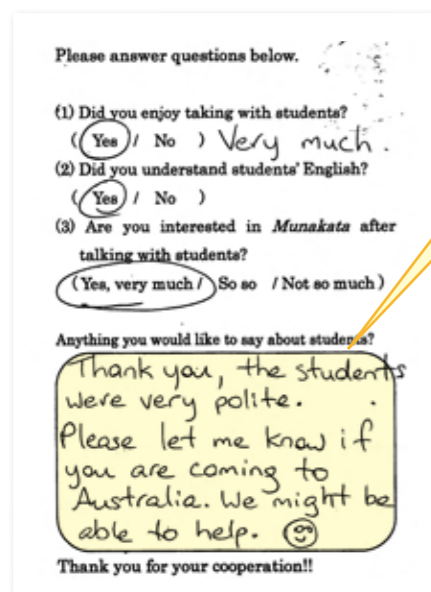
★ これまで学習してきたことをまとめ、発信するための方法を決めましょう。

10月中旬～	宗像の観光マップを作る
11月下旬	宗像の紹介原稿を書く
11月下旬～12月	宗像を外国人観光客に紹介するためのスキル学習を行う
12月(修学旅行)	①観光地で外国人観光客に宗像の紹介やインタビューを英語でする ②紹介を聞いてもらった方にアンケートを記入してもらい、評価をいただく
12月(修学旅行後)	修学旅行で体験したことをALTにプレゼンする

3 修学旅行の観光地で外国人観光客に英語で宗像の紹介とインタビューをしよう。



4 インタビューをした外国人観光客の方に評価をしてもらおう。



今日はどうもありがとう。
生徒の皆さんはとても礼儀正しかったわ。
もしみなさんが、オーストラリアに来ることがあったら、
私たちが何か手伝うことができるかもしれないわ。

難しい課題だったが、宗像を英語で紹介することができたようじゃな。相手の方も好印象を抱いてもらってある。次は観光客が宗像に来てくれると嬉しいのう。



5 修学旅行で体験したことをALTにプレゼンしてみよう。

★ 外国人観光客の反応やアンケートの内容を英語でプレゼンし、ALTの先生に聞いてもらうことで、違う視点からの評価をもらい、さらに学習を深めましょう。

ALTの先生からの評価はどうだったかな。
修学旅行の経験は素晴らしいものになったじゃろう。
このことを、みんなは次の学習問題につなげ、ふるさとをさらに発信していってくれ。また、このことは後輩たちにもぜひ、引き継いで欲しいものじゃのう。



9年 宗像の課題と可能性について考え、地域に提言・発信しよう!

◆自分たちで、追究していくための学習問題を設定しよう

学習問題(単元のめあて)



最終学年として、宗像のよさを伝えるために何ができるでしょうか。これまでの学習を生かして、自分たちにできることを考え、発信してみましょう。

◆どうやって宗像市の世界遺産を知ってもらうか、その方法を考えよう。

例) 自作DVDで宗像をPRしよう!

1 世界遺産登録後の島に生じる問題点について調査しよう。

★ 世界遺産になる背景や種類、認定に至る経緯やその後について調べ、テーマを持ち、課題を設定しましょう。

2 自分たちで調べた内容をプレゼンし、解決策を話し合おう。

★ 宗像市役所の方、駐在所の方など、世界遺産登録に直接関わっている方にも協力していただくとよりよい解決策が出てきますね。



ここでは、世界遺産登録後のふるさと大島をどのようにして守っていけばよいかを考えておるんじゃない。



3 DVD「大島に世界遺産がやってきた」を作成しよう。

★ テーマごとに役割分担をし、どのようにPRすればいいか、脚本も考えてみましょう。必要な写真や映像を考えてから撮影にいきましょう。

「宗像のよさ」だけでなく、調べたことや話し合ったことをもとに、ふるさとを守っていくために自分たちにできることをPRするとよいぞ。



4 DVDを視聴してもらい、アドバイスをもらおう。

★ できあがったDVDを多くの人に見てもらい、アドバイスをもらいましょう。

A)他の中学校の皆さんにインターネットを使って視聴してもらおう。



視聴してもらうときは、お互いに意見交流をしたり、アンケートをとったりするとよいぞ。新たな課題や改善点が見つかるかもしれん。



B)市役所の皆さんに見てもらおう。



多くの方の意見に耳を傾けることは大切なことじゃ。ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する気持ちをPRできて、自信になったじゃろう。



5 大島交流館で上映してもらい、アンケートをとって、意見をもらおう。

★ 館内にアンケートを置かせていただき、市民の方や観光客の皆さんから感想やご意見をいただきます。



島全体が御神体で厳しい入島規制がある沖ノ島を、海を隔てて遙か遠くから拝む場所。

夢の小夜島(さよしま)室町時代の築紫紀行に歌われた島。海中に立つ朱色の鳥居と島を覆い尽くす松が美しい、小さな島。

宗像大社中津宮 宗像三女神の一神・湍津姫神(たぎつひめのかみ)を祀る神社。島の南西岸に海を隔て、宗像大社の辺津宮と向かいあって鎮座している。

◆学習の流れ

課題の設定 → 情報の収集 → 整理・分析 → まとめ・発信

1 学習問題を自分でつくってみよう。 課題の設定

例えば…△△課の依頼から、世界遺産活用や地域活性化のために、宗像市に対する提言を行うという課題を設定する。

あなたは、どんなことを
やってみたいですか?



2 情報をいろいろな方法で集めよう。 情報の収集

例えば…修学旅行のレポートや様々な立場のゲストティーチャーの方々からの話をもとに自分たちで情報収集を行う。

3 情報を出し合い、学習問題に合った情報を整理・分析していこう。 整理・分析

例えば…情報収集したことをもとに、グループで協議し、提言書をまとめる。

4 整理・分析したことをまとめ、発信しよう。 まとめ・発信

例えば…提言書をもとに交流し、学級や学校代表の提言書を決める話し合いを行う。

学校で選ばれた提言書を持ち寄り、「中学生サミット」で、宗像のよさや未来について、地域に発信・提言しよう。



- | | | |
|-----------|-------------|------------|
| 1 吉武小学校 | 8 自由ヶ丘小学校 | 15 城山中学校 |
| 2 赤間小学校 | 9 赤間西小学校 | 16 中央中学校 |
| 3 河東小学校 | 10 自由ヶ丘南小学校 | 17 日の里中学校 |
| 4 南郷小学校 | 11 河東西小学校 | 18 自由ヶ丘中学校 |
| 5 東郷小学校 | 12 玄海小学校 | 19 河東中学校 |
| 6 日の里東小学校 | 13 玄海東小学校 | 20 玄海中学校 |
| 7 日の里西小学校 | 14 地島小学校 | 21 大島学園 |

自分の住んでいる校区から世界遺産の場所までどのくらいあるかな。



アジアの中にある「ふるさと・むなかた」を地図上でもう一度確認してみよう。



三三三発見! その3

宗像三女神をまつっているところが京都にある?

- 市比賣神社……………京都市下京区河原町
- 繁昌神社……………京都市下京区繁昌町
- 日向大神宮……………京都市山科区
- 八坂神社美御前社…京都八坂神社内末社
- 宗像神社……………京都市上京区京都御苑内9
- 巖島神社……………京都市上京区京都御苑内6
- 松尾大社……………京都市西京区嵐山宮町3
- 櫛谷宗像神社……………京都市西京区嵐山中尾下町60
- 山森社……………京都市北区上賀茂本山339加茂別雷神社末社
- 離宮八幡宮……………乙訓郡大山崎町字大山崎小字西谷21-1
- 新日吉神宮……………京都市東山区
- 白雲神社……………京都市上京区京都御苑内



他にも宗像三女神をまつっている神社が全国にあるかもしれません。自分たちで調べてみてはどうでしょう。

この本をつくった人たち

作成	所属	役職	名前
学識経験者	福岡教育大学	教授	石丸 哲史
宗像市立 小学校及び 中学校の 代表者	自由ヶ丘小学校	校長	猿樂 隆司
	河東中学校	教頭	安高 光家
	東郷小学校	教頭	高木 陽一郎
	玄海小学校	教頭	川口 克典
	自由ヶ丘中学校	教頭	井上 伸和
	日の里西小学校	教諭	若杉 大輔
	日の里西小学校	教諭	渡邊 幸子
福岡県	福岡県世界遺産登録推進室	主任技師	木本 唯
		郷土文化係長	大高 広和
宗像市	宗像市郷土文化課	学習指導員	合島 賢二
		推進係長	鎌田 隆徳
	宗像市世界遺産登録推進室	推進係長	加地 俊博
	宗像市教育委員会	社会教育主事	河野 和道
宗像市教育委員会	指導主事	毛利 拓也	

これまでに協力していただいた皆様

福岡市博物館	宗像大社	福岡県教育センター：後藤 正弘
宗像の民話：中野 育子	海の道むなかた館 館長 西谷 正	福津市教育委員会：森 将和
みあれ祭の話：黒神 直豊	イラスト：竹森 あやか	宗像市世界遺産登録推進室：岡 崇
みあれ祭の話：吉田 浩一	イラスト：北野 陽子	宗像市郷土文化課
みあれ祭の話：中村 忠彦	福岡県世界遺産登録推進室：野木 雄大	「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連
みあれ祭の話：花田 敏彦	福岡県立少年自然の家：本田 博之	遺産群保存活用協議会

(平成31年3月現在)

MEMO

Blank memo area with horizontal dashed lines.

MEMO

Blank memo area with horizontal dashed lines.

みんなで学ぼう!ふるさと宗像Book

発行日 初版 2018年4月
第1回改訂版 2019年3月
編集 「みんなで学ぼう!ふるさと宗像Book」編集委員会
発行 宗像市教育委員会
〒811-3492 福岡県宗像市東郷一丁目1番1号
☎0940-36-5099 FAX 0940-37-1525